TOSHIBA

液晶ディスプレイ

取付/取扱説明書

形名

TD-E654TS

ユーザーメモ

形名・製造番号は液晶ディスプレイ本体の
背面に記載されています。
形名・製造番号を以下にご記入ください。
お買い上げの販売店にご連絡される際は、この番号をお伝え
ください。
形　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

製品及び取付/取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁　止	“⃠”**は、禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指　示	“●”**は、指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注　意	“△”**は、注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 入力信号を接続して電源を入れても、画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く


プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する


指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない


風呂,シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 振動・衝撃のある場所に設置しない


振動禁止

振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む


指　示

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する


指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意　つづき

設置するとき　つづき

■ 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない



- 金属類や花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 転倒・落下防止の処置をする



転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒、落下防止のしかたについては、設置環境によりますので、工事専門業者にご依頼ください。

■ 異物を入れない



通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コード及び本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する



かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整及び修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する



電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電の原因となることがあります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 周囲を囲まれた、風通しの悪いところに設置しないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所や、台所・浴室などの湿気の多い場所などに置くと、故障や火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う
  ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- 画面を押さえないように、液晶ディスプレイをしっかり支えて取り扱う
  液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
- 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
  液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。
- 移動する前に、すべてのケーブルを取り外す
  ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ 熱くなった通風孔に手や顔などを近づけない



本機は使用すると通風孔付近が非常に熱くなり、体の一部を近づけすぎると、やけどやけがの原因となることがあります。

使用するとき　つづき

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

■ 液晶ディスプレイやスタンドにぶら下ったり、上に乗ったりしない



落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、



- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示(+)と(-)を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 液晶ディスプレイの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない



ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

お手入れのしかたは48ページをお読みください。

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する



本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 高度3000mを超える場所では使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。また、50ページ記載の環境条件の範囲外では動作保証できません。
- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 移転など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 海岸地区のような潮風の影響を受ける場所や、温泉地のように腐食性のガスが発生する場所等には設置しないでください。塩分やガスで腐食が発生して誤動作や故障の原因となることがあります。
- 湿度の高い環境で使用すると、タッチパネルガラスと液晶画面の間に結露が発生する場合があります。これは自然現象であり故障ではありません。室温を徐々に上げていくと結露は消えます。結露が起きた場合は結露がなくなるまで電源を入れないでください。結露状態での使用は故障の原因になることがあります。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。
- 本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

商標に関する情報

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI ロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）が生じた場合、保証期間内でも有料修理になります。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

メモ　メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

目次

1. 開梱と設置 1
- 1.1. 開梱 1
- 1.2. 梱包箱の内容 1
- 1.3. 設置時の注意 2
- 1.4. 壁に取り付ける 3
- 1.5. 電源の接続 4
- 1.6. 画像の焼付き及び残像を防ぐ 4
- 1.7. 結露について 4

2. 各部の名称と働き 5
- 2.1. 前面(操作ボタン/端子/LED) 5
- 2.2. 側面/背面 (端子/AC入力) 6
- 2.3. スタイラスペン 7
- 2.4. リモコン 8
  - 2.4.1. リモコンボタンの機能 8
  - 2.4.2. リモコンに乾電池をセットする 9
  - 2.4.3. リモコン操作上の注意 9
  - 2.4.4. リモコンの動作範囲 9

3. 外部機器を接続する 10
- 3.1. 外部機器を接続する前に 10
  - 3.1.1. 外部機器の準備 10
  - 3.1.2. 接続ケーブルの準備 10
- 3.2. USB を接続する 11
- 3.3. A/V を接続する 11
- 3.4. コンポーネントを接続する 11
- 3.5. HDMIを接続する 12
- 3.6. VGAを接続する 13
- 3.7. PCを操作する 13

4. 操作 14
- 4.1. 基本操作 14
  - 4.1.1. 電源オン 14
  - 4.1.2. MENU ボタン（本体） 14
  - 4.1.3. タッチ機能 15
  - 4.1.4. ミーティングの機能について 16
  - 4.1.5. ホーム画面 17
- 4.2. 入力ソースの切り替え 18
- 4.3. 機能設定を行う 18
  - 4.3.1. General(一般) 設定 19
  - 4.3.2. Picture(映像) 設定 20
  - 4.3.3. Sound(音声) 設定 21
  - 4.3.4. System(システム) 設定 22
  - 4.3.5. About(その他) 設定 25

5. ホワイトボードモード 27
- 5.1. ホワイトボードに描き込む 27
  - 5.1.1. キャプチャモード／表示モード 切り替え 27
  - 5.1.2. 線・描画の削除 29
  - 5.1.3. 線の太さの選択 29
  - 5.1.4 ペンの色選択 29
  - 5.1.5. ページ切り替え 30
- 5.2. ホワイトボード画面を保存する 31
  - 5.2.1. ボトムツールバー表示 31
  - 5.2.2. エンドミーティング 31
  - 5.2.3. データ途中保存 32
  - 5.2.4. 画面インサート 32
  - 5.2.5. Settings 33
  - 5.2.6. Help 34
  - 5.2.7. その他 ボトムツールバーアイコン 34
- 5.3. メモパッドを使う 35
  - 5.3.1. メモパッドの操作 35
  - 5.3.2. メモパッドへの記載 35

6. スクリーンディスプレイモード 36
- 6.1. 入力ソース画面への描き込み操作 36
  - 6.1.1. モード切り替え 36
  - 6.1.2. 画面キャプチャ 37
  - 6.1.3. データの保存 37
  - 6.1.4. その他アイコン 38

7. File Explorerの操作 39
- 7.1. ファイル保存形式 39
  - 7.1.1. ミーティングフォルダ 39
  - 7.1.2. ホワイトボードモードの 保存形式 39
  - 7.1.3. 画面キャプチャデータの 保存形式 39
- 7.2. File Explorer基本操作 40
  - 7.2.1. フォルダの分類 40
  - 7.2.2. フォルダ表示機能 40
- 7.3. 保存データを開く 42
- 7.4. 保存データを操作する 42
- 7.5. 保存データのコピー･移動･消去を行う 42
- 7.6. メディアファイルを再生する 44
  - 7.6.1. Photo file 44
  - 7.6.2. Video file 46
  - 7.6.3. Music file 47

8. お手入れとトラブルシューティング 48
- 8.1. お手入れ 48
- 8.2. トラブルシューティング 49

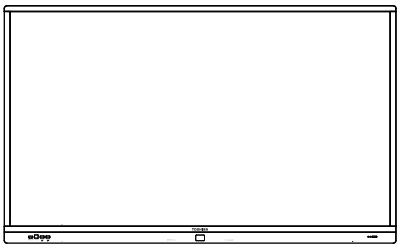
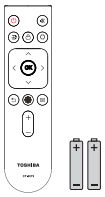
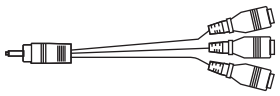
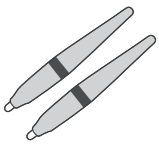
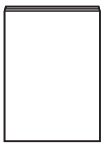
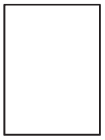
9. 製品仕様 50

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- 本機は、以下の付属品とともに梱包されています。
- 開梱後は、中身がすべてそろっており損傷していないことを確認してください。

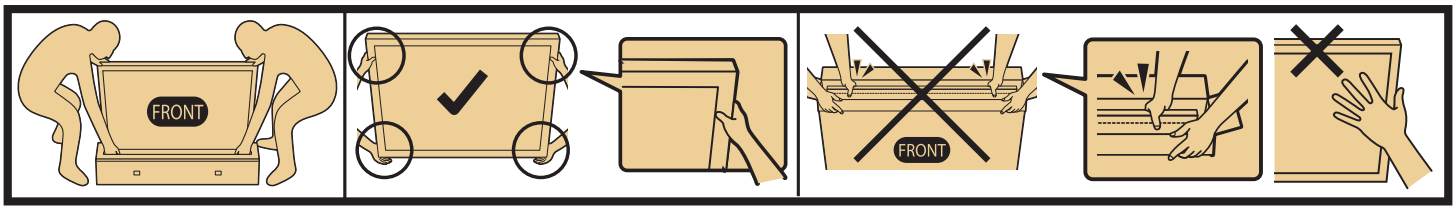
1.2. 梱包箱の内容

品 名	数量	備 考
液晶ディスプレイ	1	
リモコン 単四形乾電池	1 2	 リモコンと単四形乾電池(2個)
3.5mmステレオミニプラグ ー コンポーネント /AV(コンポジット) 変換ケーブル	1	
スタイラスペン	2	
ハンギングホイール (VESA取付用スペーサ)	4	
取付ガイド	1	 取付ガイド
保証書	1	 保証書

1.3. 設置時の注意

⚠注意	■ 2人以上で作業する 一人で作業をすると身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。 ■ 画面を強く握らない 画面を強く握ると、損傷を与えるおそれがあります。

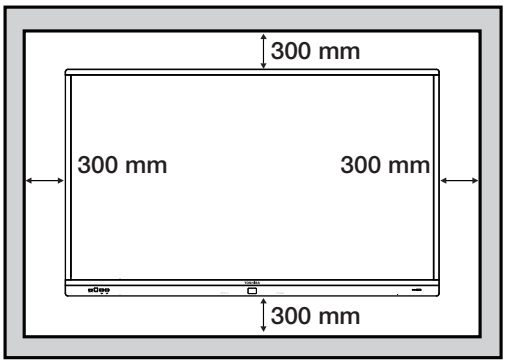
- 電力消費量が大きいため、必ず本機専用のコンセントを使用してください。延長ケーブルを使用する場合は、販売店にお問い合わせください。
- 複数のディスプレイを接続して使用する場合はコンセントの電源容量に注意してください。販売店にご相談いただくことをおすすめします。
- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 液晶ディスプレイの画面を押さえて持ったり、外枠（フレーム）を強く握ったりしないでください。



メモ
- 液晶パネル部は衝撃に弱く、不適切な取り扱いで損傷を与える場合があります。液晶パネルの損傷を防ぐため、液晶ディスプレイを持ち上げたり移動する場合は、上記注意事項を守ってください。不適切な取り扱いでの損傷は保証の対象外となります。

本機を設置する際の換気要件

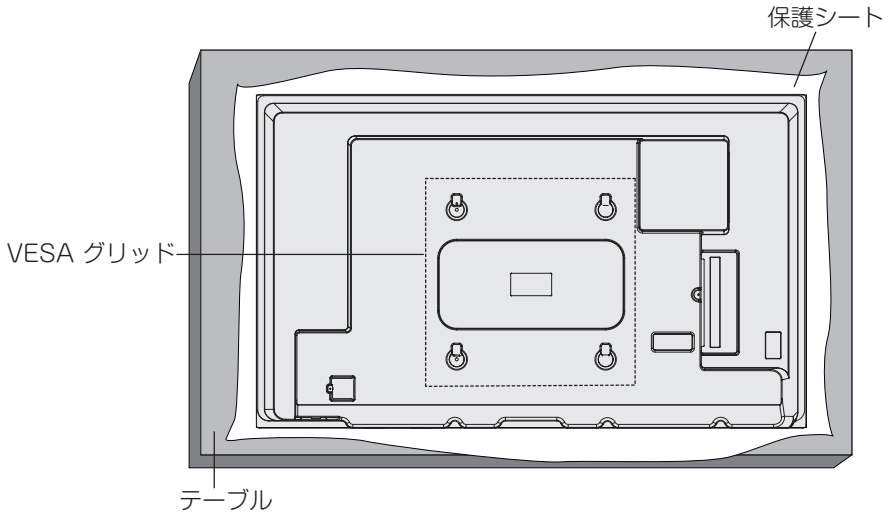
下図のとおり、本機の周囲に換気のための空間を確保してください。



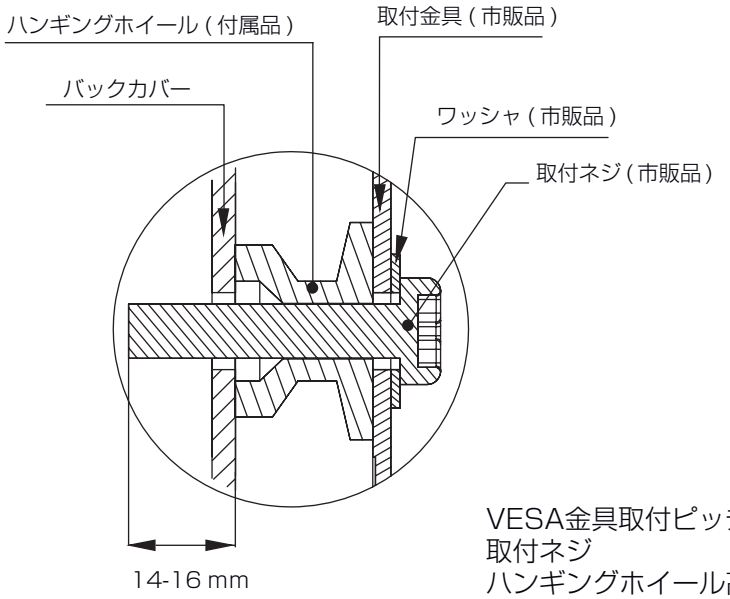
⚠注意	■ 本機は横置き専用に設計されています。縦置き及び平置きでの使用はできません。 ■ チルト(前傾,後傾)で使用しないでください。タッチ機能に影響を及ぼす可能性があります。

1.4. 壁に取り付ける

本機を壁に取り付ける場合は、VESAマウント規格に適合した取付金具（市販品）を用意してください。



1. 出荷時に本機を包んでいた保護シートをテーブルに敷き、表面に傷がつかないように本機をおきます。
2. 本機の取り付けに必要なすべての取付金具が揃っていることを確認します。
3. 実際の取り付けは、取付金具に付属している手順書に従ってください。正しい手順に従わないと、機器が損傷したり、使用者や設置者が怪我をするおそれがあります。不適切な設置が原因の損害は製品保証の対象外です。
4. 取付金具は、M6取付ネジを使用し、しっかりと締めてください。ネジの長さは下図を参考に、本機背面からVESAマウントに対するネジ深さが14-16mmとなるものをご使用下さい。（付属ハンギングホイール高さ: 15.0mm）
5. 壁掛け試験による安全確認をしていますが、本体質量を十分支える強度のあるVESAマウント規格に適合した市販の取付金具を使用してください。



VESA金具取付ピッチ(mm)	400×400
取付ネジ	M6
ハンギングホイール高さ(mm)	15.0

1.5. 電源の接続

⚠注意	■ 電源コードは、本機に取り付けられています。

- 接続の前に本体の主電源が「オフ」になっていることを確認してください。
- できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。

1.6. 画像の焼付き及び残像を防ぐ

⚠注意	■ 静止画を長時間表示しないでください。長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。これは、保証対象外となります。

- 4:3フォーマットの映像を長時間見ているときは、画面の左右と画像の端に異なる跡が残されますので、長時間使用しないでください。
- PC(コンピュータ)等の静止画像を長時間表示すると、部分的な残像が発生したり、焼付きが発生したりするため、明るさとコントラストを適切に下げてください。
- 使用しないときは電源をオフしてください。

⚠注意	■ 当製品は、1日16時間以内での使用時間を前提に設計されています。 1日16時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

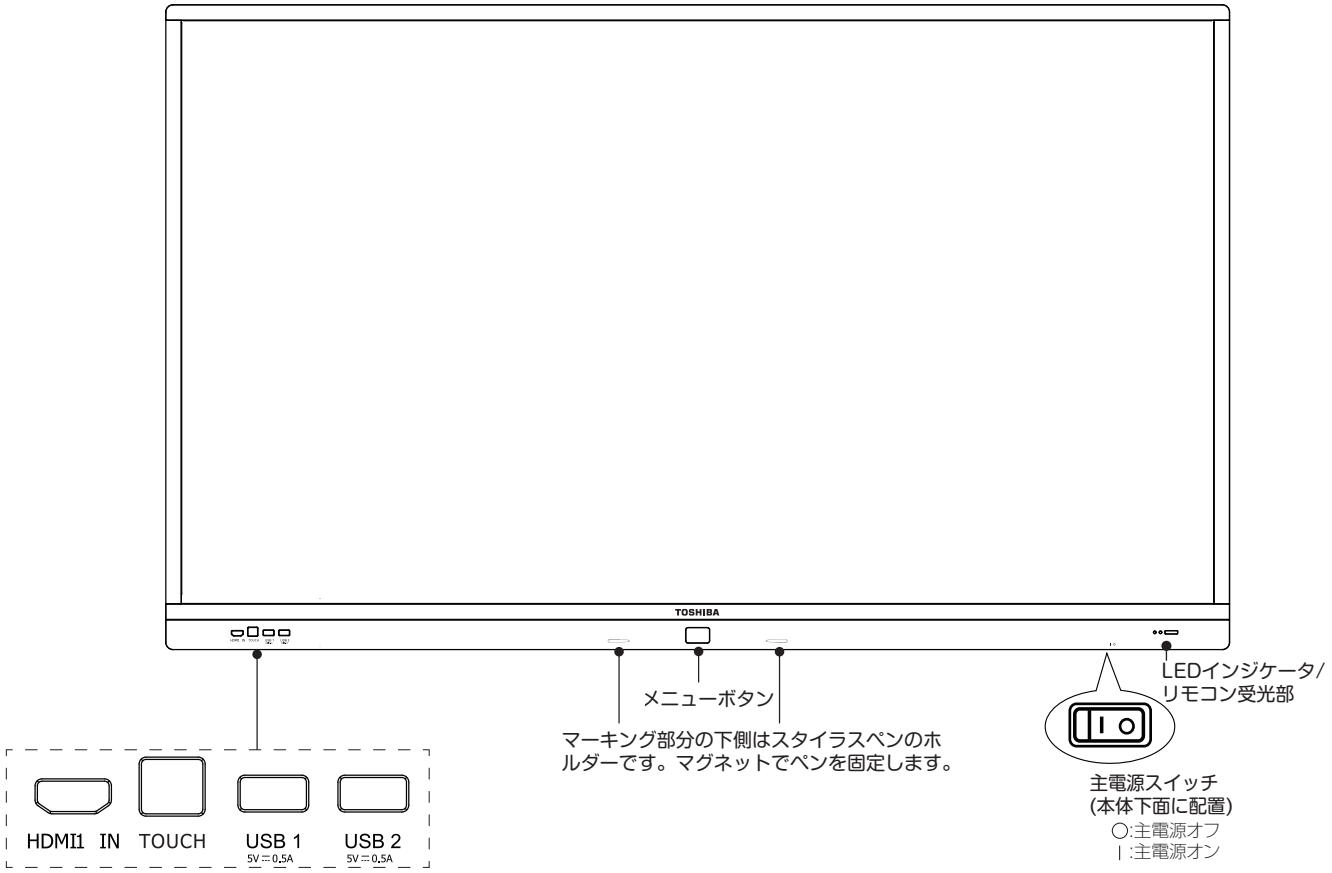
1.7. 結露について

本機で構成する液晶パネルとタッチパネルの間には構造上わずかに隙間があり、湿度の高い環境で使用すると、タッチパネルガラスと液晶画面の間に結露が発生する場合があります。これは自然現象であり故障ではありません。室温を徐々に上げていくと結露は消えます。

⚠注意	■ 結露が起きた場合は結露がなくなるまで電源を入れないでください。 結露状態での使用は故障の原因になることがあります。

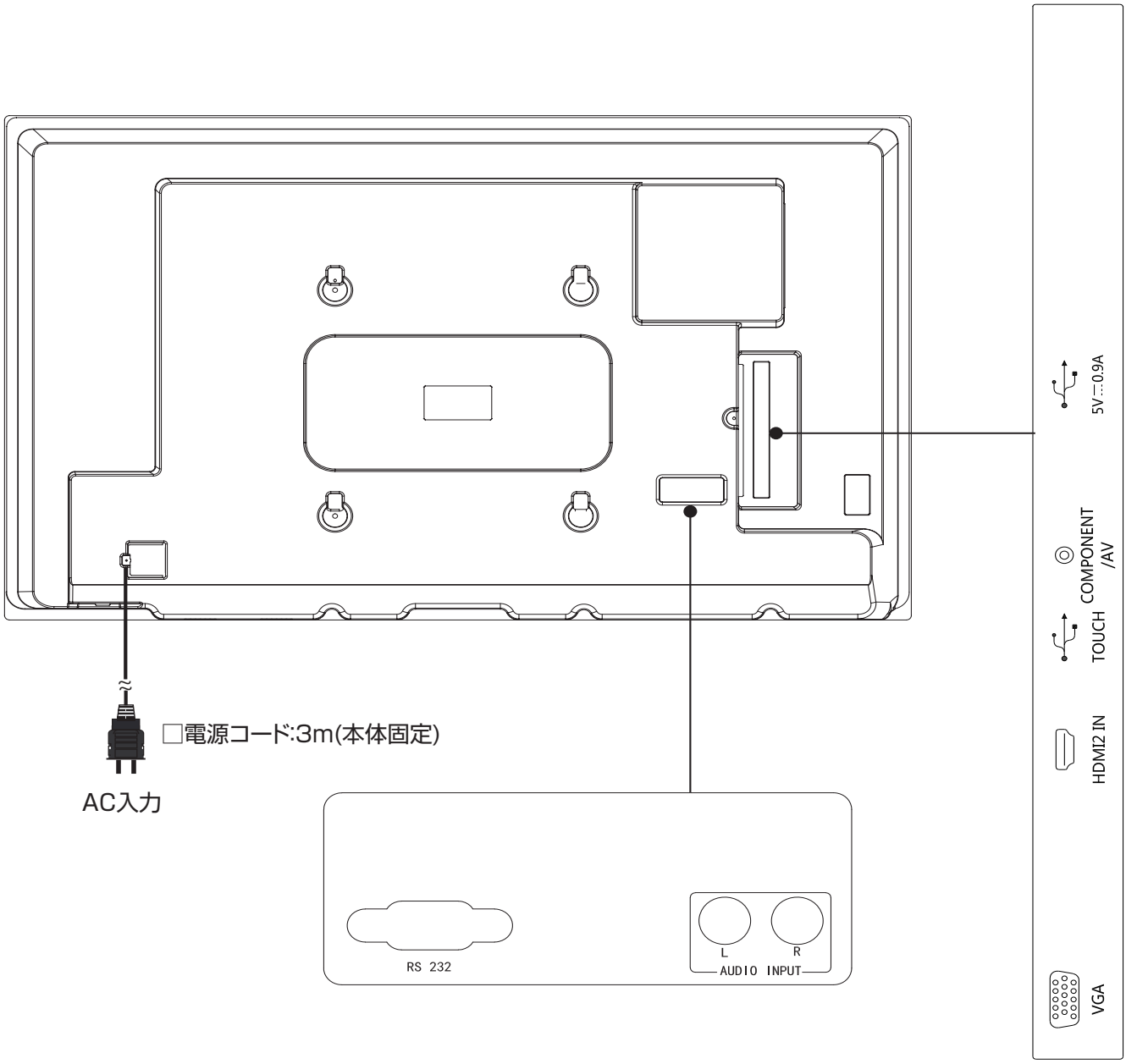
2. 各部の名称と働き

2.1. 前面 (操作ボタン/端子/LED)



名称	機能説明
主電源スイッチ	本機の主電源のオン／オフを行います。
リモコン受光部	付属のリモートコントローラからのコマンド信号を受信します。
LED インジケータ	本機の電源状態を表示します。 - 赤に点灯：本機が電源スタンバイ状態になっている。 - 青に点灯：本機が電源オン状態になっている。 - 消灯：本機の主電源が切れている。
MENU(メニュー) ボタン	電源オン状態でメニューボタンを押すと、OSD ポップアップメニューを表示します。 電源オン状態でメニューボタンを長押しすると、電源スタンバイ状態に移行します。 電源スタンバイ状態でメニューボタンを押すと、電源オンになります。
HDMI1 IN	HDMI1 ビデオ／音声入力。STB(セットトップボックス)、ブルーレイ、DVD、PC (コンピュータ) 等、HDMI 出力ポートを備えた外部機器に接続できます。
TOUCH	タッチパネル制御用 USB 出力。タッチ操作を行う PC を接続します。
USB1/2	前面 USB 端子 1/2。USB メモリー、USB キーボード、USB マウスを接続します。

2.2. 側面/背面 (端子/AC入力)



メモ

- 背面図は参考用です。実際の製品を参考にしてください。
- 外部機器の接続の際には、適切な入力信号ケーブルを正しく接続してください。
- 製品移動の際には、本体背面についているケーブルクランプを使って電源コードをまとめることができます。

・ 側面端子

端子名称	機能説明
USB	側面USB端子。USBメモリー、USBキーボード、USBマウスを接続します。
COMPONENT /AV	コンポーネント(YPbPr)ビデオ入力/AV(コンポジットビデオ)入力兼用端子(Pr 端子兼用)。STC(セットトップボックス)、DVD、VTR等のコンポーネントビデオ出力もしくはAV(コンポジットビデオ)出力を備えた外部機器に接続できます。接続には同梱の3.5mmステレオミニプラグーコンポーネント/AV(コンポジット)変換ケーブルをご利用ください。
TOUCH	タッチパネル制御用USB出力。ノートパソコンなどの機器に接続できます。
HDMI2 IN	HDMI2 ビデオ/音声入力。STB(セットトップボックス)、ブルーレイ、DVD、PC(コンピュータ)等、HDMI出力ポートを備えた外部機器に接続できます。
VGA	VGA(アナログRGB)ビデオ入力端子。

・ 背面端子

AUDIO INPUT	外部機器からの音声入力端子。VGA、AV(コンポジット)、コンポーネント入力選択時に有効です。
RS232	サービス専用の端子です。何も接続しないでください。

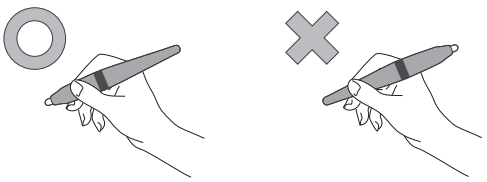
2.3. スタイラスペン

• 付属のスタイラスペンをご使用いただく際は下図の通り、正しい向きでご使用ください。

スタイラスペン



スタイラスペン向き



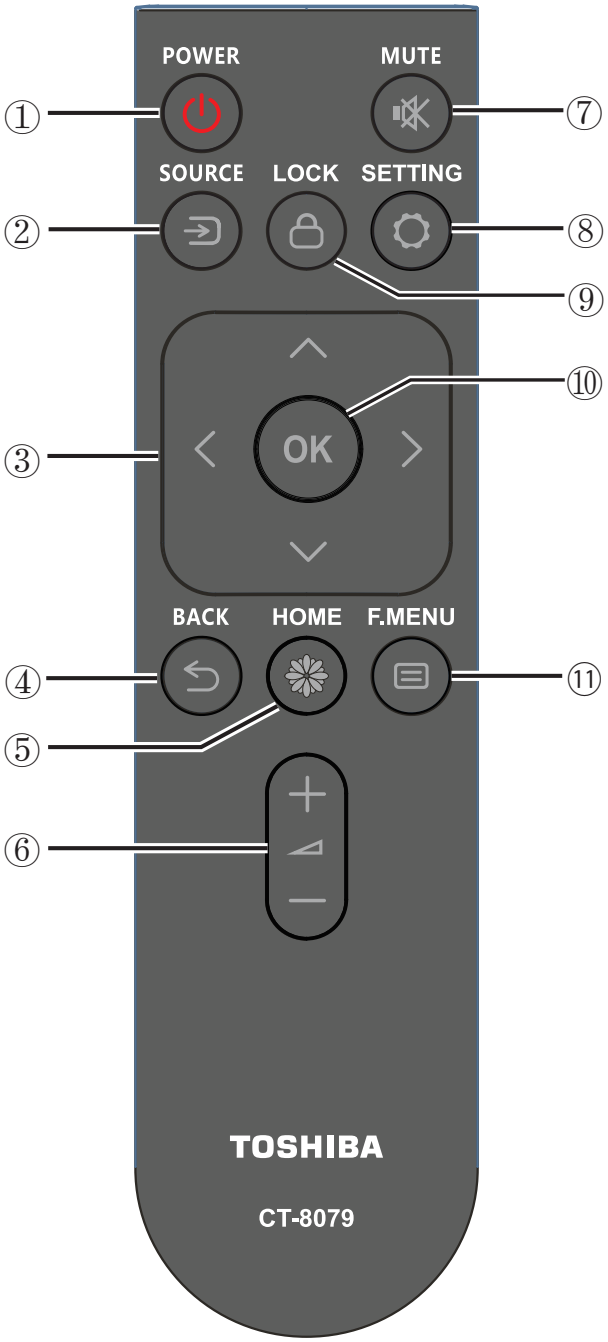
メモ

· 文字や線の描き込みには付属のスタイラスペンが誤動作が少なく描けるのでお勧めです。
指先でも描き込みはできますが、手のひらなどがあたって誤動作する場合があります。
· スタイラスペンには乾電池は使用しておりません。

⚠注意	■ 硬いものや鋭利なもので画面タッチしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。このような傷は保証対象外です。

2.4. リモコン

2.4.1. リモコンボタンの機能



① **[⏻] 電源ボタン**
本機の電源を入れたり、スタンバイにします。

② **[⇒] SOURCE ボタン**
入力ソースを選択します。[〈] または [〉] ボタンを押して、HDMI 1、HDMI 2、AV、COMPONENT、VGA を切り替えます。[OK] ボタンを押して設定を確定し、終了します。

③ **[∧] [∨] [〈] [〉] ナビゲーションボタン**
メニュー間を移動し、項目を選択します。

④ **[⮌] 戻るボタン**
メニューの前のページに戻ります。または前の機能を終了します。

⑤ **[✿] ホームボタン**
ホーム画面を表示します。

⑥ **[−] [+] 音量ボタン**
音量を調整します。

⑦ **[🔇] ミュートボタン**
ミュート機能をオン/オフにできます。

⑧ **[☼] 設定ボタン**
設定メニューを表示させます。

⑨ **[🔒] ロックボタン**
ディスプレイ操作に対する、ロック／ロック解除を行います。

⑩ **[OK] ボタン**
入力または選択内容を確認します。

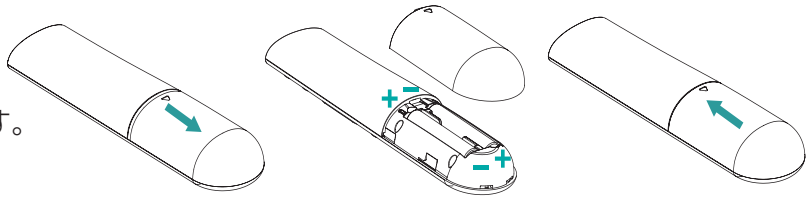
⑪ **[☰] F. MENU(FILE MENU) ボタン**
USBメモリーや内蔵メモリー内のコンテンツ再生時、操作メニューを表示します。

2.4.2. リモコンに乾電池をセットする

リモコンは1.5V単四形乾電池を2本使用します。

乾電池をセットまたは交換する

1. カバーを押してスライドし、開けます。
2. 極性表示の(+)と(−)のとおり乾電池を入れます。
3. カバーを元どおりに取り付けます。



⚠注意	■ 乾電池は正しく使用してください。誤った使い方をすると、液漏れや破裂の原因になります。

次の指示を守ってください。

- 極性表示の(+)と(−)のとおりセットしてください。
- 違う種類の乾電池を一緒に使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れが発生することがあります。
- 使い終わった乾電池は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、ただちに取り外してください。
  肌にダメージを与えることがあるため、乾電池から漏れ出た電解液には触れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。

2.4.3. リモコン操作上の注意

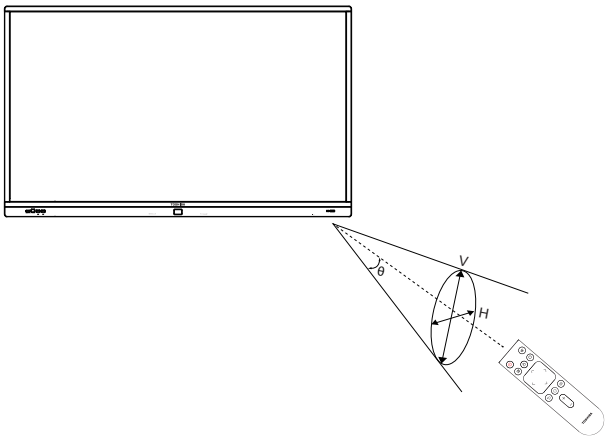
- 強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちにふき取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

2.4.4. リモコンの動作範囲

リモコンの先端を本機のリモコン受光部に向け、ボタンを押します。

リモコンは次の表に記載の範囲内で使用してください。

動作角度	リモコン動作距離
θ= 0°(横及び縦)	≦8m
θ= 30°(横)	≦6m
θ= 15°(縦)	≦6m



メモ ・ 本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっている場合や、信号の送信経路に障害物がある場合はリモコンが正しく動作しないことがあります。

3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器を接続する前に

3.1.1. 外部機器の準備

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

3.1.2. 接続ケーブルの準備

本書に記載の接続方法及び接続ケーブルの端子形状などは一例です。

設置場所や接続機器の使用に適した市販品をご使用ください。

<映像ケーブル>

1) HDMIケーブル

- HDMIロゴ表示のある、5m以内のケーブルをお使いください。
- 5mより長いケーブルをお使いになる場合はアクティブケーブルまたは延長器をご使用ください。
- 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。(標準HDMIケーブルでは正常に動作しないことがあります。)

2) VGA(アナログRGB)ケーブル

- 固定用のネジがあるコネクタを使用し、機器との接続時は固定用ネジを締めてください。

3) コンポジットケーブル／コンポーネントケーブル

- 本機の入力は3.5mmステレオミニジャックとなっています。付属のステレオミニプラグ －コンポーネント/AV変換ケーブルを使用してください。
- コンポーネント入力 Pr端子がコンポジット入力の兼用端子となっています。
- 接続機器側の端子形状確認のうえ、接続に適したケーブルをご使用ください。

メモ ケーブル使用上の注意(各ケーブル共通)

- ケーブルロスを最小にするため、2つの機器を接続するために必要最低限の長さのケーブルを使用してください。
- ケーブルを潰した状態で使用するとその特性が変わってしまうことがあり、画面にノイズとして現れたり、同期が外れたり、画面が出なくなることがあります。ケーブルを結束する場合は締めすぎないようご注意ください。
- 固定用のネジがあるコネクタの場合は、機器との接続時には固定用のネジをきちんと締めてください。

<音声ケーブル>

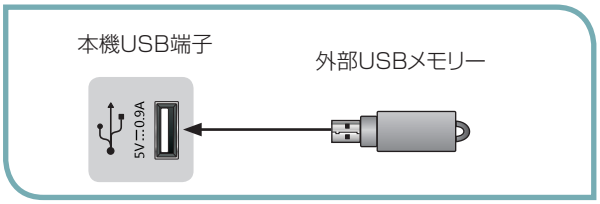
- 本機の入力はRCA端子2ピン(L/R)です。接続機器側の端子形状確認のうえ、接続に適したケーブルをご使用ください。

メモ ケーブル使用上の注意(各ケーブル共通)

- 抵抗入りのケーブルは使用しないでください。抵抗入りのケーブルは音声レベルに影響を及ぼし音声のレベルが著しく落ちる可能性があります。

3.2. USBを接続する

- USBメモリーを本機に直接接続します(USBメモリー:市販品、52ページ参照)



メモ

- USBメモリー接続の際、延長ケーブルは使用しないでください。動作が不安定になる場合があります。
- USBキーボード、USBマウスも接続可能です。詳細は19ページを参照してください。

⚠注意	■ 前面 USB端子(USB1,USB2)の最大出力電流はそれぞれ500mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。 ■ 側面 USB端子の最大出力電流は900mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。 ■ 本機のUSBポートで同時に出力できる合計電流は最大1900 mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。

3.3. A/Vを接続する

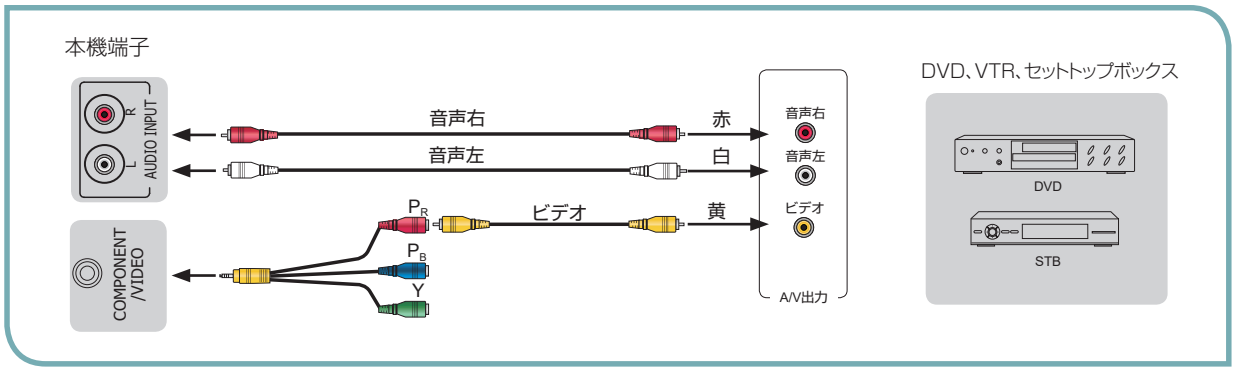
・映像入力

付属の3.5mmステレオミニプラグーコンポーネント/AV変換ケーブルを使用します。

AV(コンポジットビデオ)入力はコンポーネントビデオのPr入力と兼用です。このAV(コンポジットビデオ)入力と、接続する外部機器(DVD,VTR,セットトップボックスなど)のコンポジットビデオ出力を接続します。

・音声入力

本機の音声入力端子(L/R)と、接続する外部機器の音声出力端子(L/R)を音声ケーブルで接続します。



■ 3.5mステレオミニプラグーコンポーネント/AV 変換ケーブル

□ AV(コンポジットビデオ)ケーブル:市販品 (10ページ参照)

□ 音声ケーブル:市販品 (10ページ参照)

メモ

- ビデオ入力に切り替えるときは、外部機器のオーディオ信号が同期して本機に接続されていることを確認してください。そうしないと、オーディオやビデオの非同期などの異常な問題が発生します。

3.4. コンポーネントを接続する

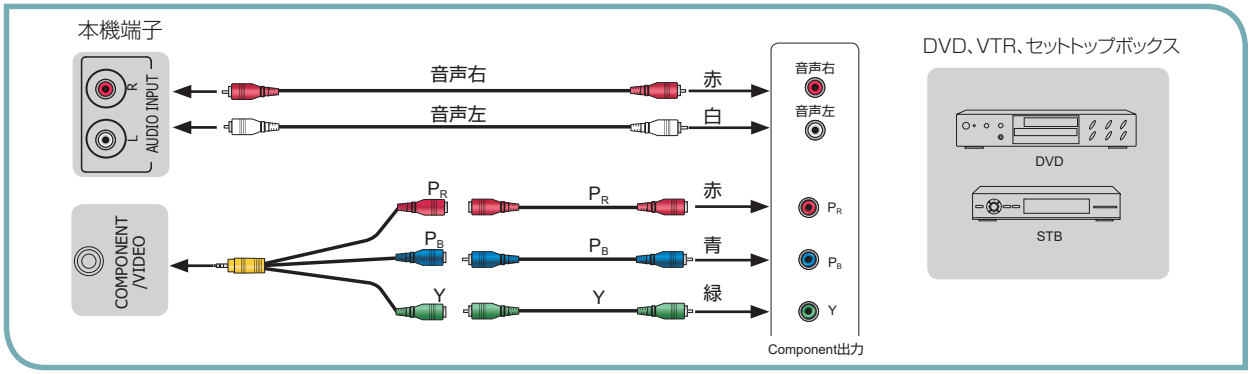
・映像入力

付属の3.5mmステレオミニプラグーコンポーネント/AV(コンポジット)変換ケーブルを使用します。

このコンポーネントビデオ入力と、接続する外部機器(DVD,VTR,セットトップボックスなど)のコンポーネントビデオ出力端子を接続します。

・音声入力

本機の音声入力端子(L/R)と、接続する外部機器の音声出力端子(L/R)を音声ケーブルで接続します。



■ 3.5mステレオミニプラグーコンポーネント/AV 変換ケーブル

□ コンポーネントビデオケーブル:市販品 （10ページ参照）

□ 音声ケーブル:市販品 (10ページ参照)

メモ

- コンポーネント入力を使用するときは、映像信号がAUDIO INPUT端子に接続している音声信号と同期していることを確認してください。そうしないと、音声と映像が非同期になる問題が発生する可能性があります。
- コンポーネント入力でサポートされているビデオ信号フォーマットについては、右表を参照してください。

コンポーネント入力でサポートされているビデオ信号フォーマット
480i、480p、576i、576p
720p/60Hz、1080i/50Hz、1080i/60Hz、1080p/50Hz、1080p/60Hz

3.5. HDMIを接続する

本機には、他の機器(ブルーレイ、DVD,セットトップボックスなど)がサポートするHDMI出力を接続するHDMI入力端子を2系統持っています。(HDMI1 IN、HDMI2 IN)

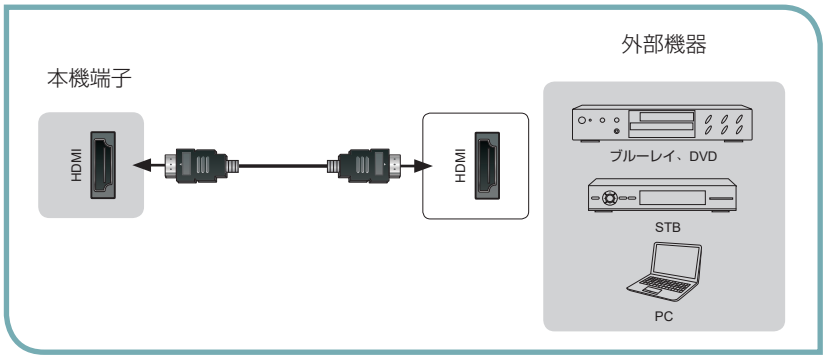
音声はHDMI信号に重畳される信号を出力します。HDMI入力選択時に、音声入力端子からの信号出力に切り換える機能はありません。

メモ

- HDMIで他の機器と接続するときは、送信信号が本機がサポートする信号フォーマットであることを確認してください。(サポート解像度一覧を参照)

  サポートされない信号の場合は、画像が乱れる、または画像が表示されないことがあります。
- HDMI外部機器がHDCP信号が適切にサポートしていない場合には、画面が表示されないことがあります。お使いの外部機器の仕様を確認してください。

HDMIでサポートされている信号フォーマット	
RGB/60Hz	**640×480、800×600、1024×768、1280×720、1280×1024、1360×768、1600×900、1920×1080**
YUV/50Hz	**576i、576p、720p、1080i、1080p**
YUV/60Hz	**480i、480p、720p、1080i、1080p**
24/25/30Hz	**1080p**



□ HDMIケーブル:市販品 (10ページ参照)

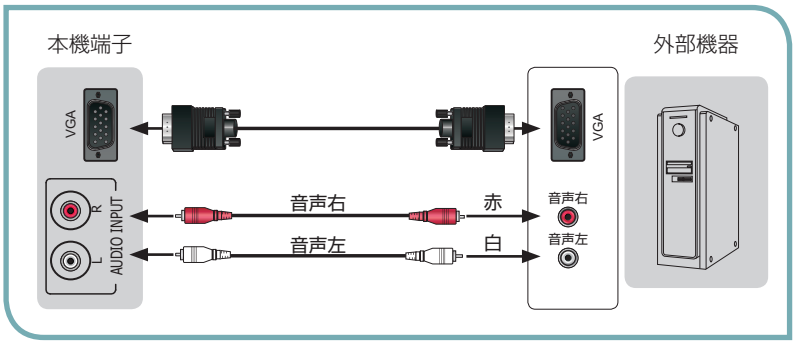
3.6. VGAを接続する

- 本機にはD-sub 15ピンRGBコンピュータ標準ポートがあり、本機のVGAポートとホストコンピューターのVGAポートを接続します。
- 本機の音声入力端子とコンピューターのサウンドカードの音声出力端子を音声ケーブルで接続します。

メモ

- VGA入力を使用するときは、映像信号がAUDIO INPUT端子に接続している音声信号と同期していることを確認してください。そうしないと、音声と映像が非同期になる問題が発生する可能性があります。
- VGAポートでサポートされているコンピュータの信号フォーマットについては、下表を参照してください。

VGAポートでサポートされているコンピュータの信号フォーマット		
VGA	**640×480**	**60Hz**
SVGA	**800×600**	**60Hz**
XGA	**1024×768**	**60Hz**
SXGA	**1280×1024**	**60Hz**
FHD	**1920×1080**	**60Hz**



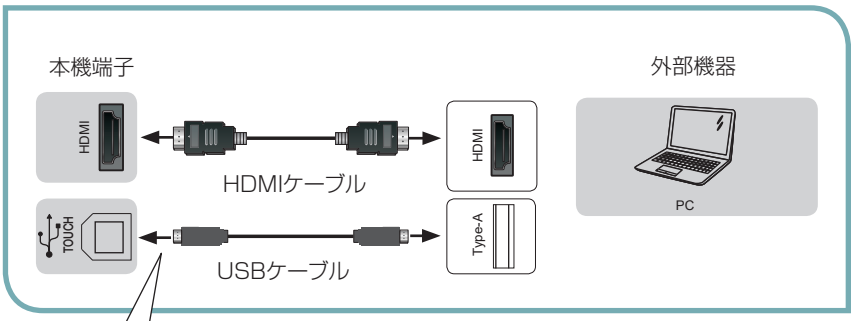
□ VGAケーブル:市販品 (10ページ参照)

□ 音声ケーブル:市販品 (10ページ参照)

3.7. PCを操作する

PC接続時に本機に映し出された画面からPCの操作を行うことができます。

本機とPCの接続



□ HDMIケーブル:市販品 (10ページ参照)

□ USBケーブル:市販品

メモ

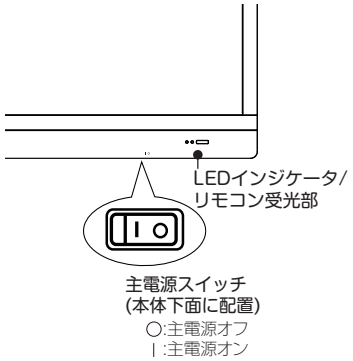
- 本機のタッチ機能でPCを操作するために、HDMIケーブルとUSBケーブルを接続する場合、フロントのHDMI1とTOUCH USBのペアもしくはサイドのHDMI2とTOUCH USBのペアで接続してください。
- 本機のTOUCH操作用のUSB端子はType Bです。接続するPCの端子形状を確認のうえ、USB 2.0以上の規格に準拠した市販のUSBケーブルを準備してください。
- ケーブル長は5m以内(USB 2.0規格)のもので、実際の使用環境に合わせて最適な長さのものを準備してください。
- タッチ操作可能なPCのOSはWindows 7及びWindows 10となります。ただし、すべてのPCでの動作を保証をするものではありません。
- タッチ操作で位置が大きくずれていたり、ずれた位置に描画されるなどの症状があった場合、PC側でタッチ位置のキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションの方法は使用するPCの取扱説明書もしくはヘルプメニューを確認してください。

4. 操作

4.1. 基本操作

4.1.1. 電源オン

- 主電源スイッチをオンにします。LEDインジケータが青に点灯し、ディスプレイがオンになります。(出荷設定)
- 主電源スイッチがオンで、LEDインジケータが赤点灯の場合は、電源スタンバイ状態となっていますので、リモコン電源ボタンまたは本体[MENU]ボタンを押してください。
- 主電源スイッチがオフ(LEDインジケータが消灯)時は、リモコン及び本体[MENU]ボタンを押しても動作しません。これらを使用する場合は、主電源スイッチがオンであることを確認してください。



LEDインジケータ	
電源ステータス	LED
電源オン状態	青点灯
電源スタンバイ状態	赤点灯
主電源オフ	消灯

メモ

- ディスプレイ起動中は、水色の背景にステータスバーが数秒間表示されます。内部設定を行っていますので、この間はリモコンや本体ボタンは受け付けません。起動中に主電源オフはしないでください。



4.1.2. MENU ボタン(本体)

1) OSDポップアップメニュー表示

電源オン状態で本体[MENU]ボタンを押すと、OSDポップアップメニューを表示します。

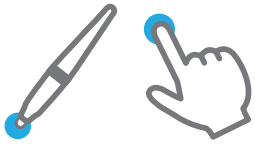
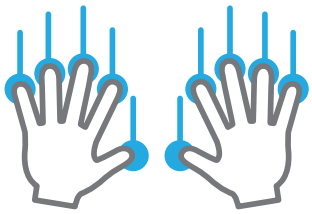
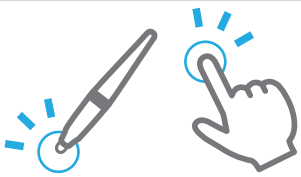
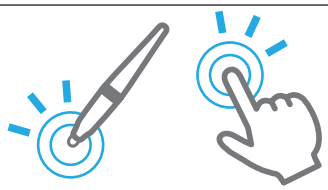
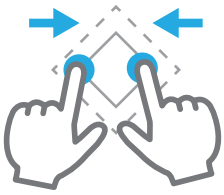
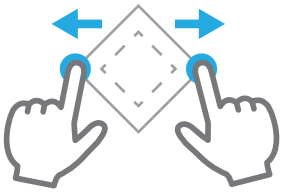
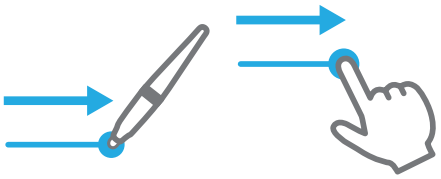
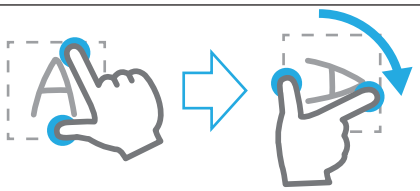
2) 電源管理

電源オン状態で本体[MENU]ボタンを長押しすると、電源スタンバイ状態に移行します。

電源スタンバイ状態で本体[MENU]ボタンを押すと、電源オンします。

4.1.3. タッチ機能

- 本機で使用するタッチ操作を説明します。

名称	操作内容		本機での用途
タッチ		スタイラスペンや指先で画面に触れる操作です。	
マルチタッチ		複数の指先で画面に触れる操作です。	複数の描画を行う操作になります。 本機は最大20点のマルチタッチが可能です。
タップ		指先やスタイラスペンで画面を軽く叩く操作です。	各種アイコン、OSDポップアップメニュー及びOSD操作メニューの選択を行います。
ダブルタップ		指先やスタイラスペンで画面をすばやく2度軽く叩く操作です。	ファイルエクスプローラで、フォルダやファイルを開く操作を行います。
ピンチイン		ディスプレイに2本の指でタッチして、画面を縮めるようにスライドさせる操作です。	描画の縮小を行います。
ピンチアウト		ディスプレイに2本の指でタッチして、画面を押し広げるようにスライドさせる操作です。	描画の拡大を行います。
スワイプ		指先やスタイラスペンで画面に触れ、任意の方向にすばやく動かす操作です。	静止画ファイル再生時、次のファイルに送ったり、前のファイルに戻したりします。
回転		2本の指先で画面にタッチして、片方の指先を軸として、もう一方の指先をコンパスのように回転させる操作です。	描画内容の回転及び静止画ファイルの回転を行います。

4.1.4. ミーティングの機能について

ミーティング:
1つの会議の記録として描いた議事録や画面キャプチャした画面を1つの本体フォルダにまとめて置く機能です。

ミーティングの開始
ホワイトボードモードを立ち上げたとき、スクリーンディスプレイモードで画面キャプチャ行ったとき、ミーティングフォルダが自動的に作成されます。

ミーティングの終了
エンドミーティング(End Meeting)を行うことでミーティングを終了します。

- **保存 (SAVE)を選んだ時**
  ホワイトボードモードでは、HMFという専用の管理ファイルと各ページを画面キャプチャしたPNGファイルが保存されます。
  スクリーンディスプレイモードでは、入力ソースに対して画面キャプチャされたPNGファイルがミーティングフォルダに保存されます。

- **クリア(Clear)を選択したとき**
  作成されたファイルすべてを消去します。セキュリティなどのため本体に残してはいけない場合に使用します。

メモ
- 作成されるフォルダやフォイル名については、39ページの「File Explorerの操作」参照してください。

4.1.5. ホーム画面

ディスプレイが起動するとホーム画面を表示します。
ホーム画面は日付及び時計表示と3種類のアイコンで構成されています。



1) 日付及び時間設定: 22ページを参照してください。

2) アイコン動作

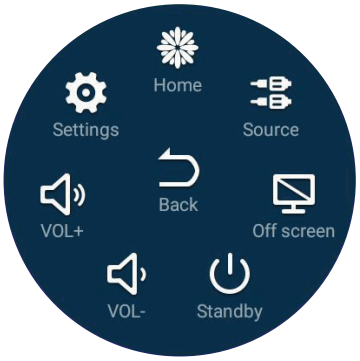

: White Board アイコン
アイコンをタップするとホワイトボードモードに移行します。 27ページを参照してください。


: Screen Displayアイコン
アイコンをタップすると入力信号の切り替え画面に移行します。 36ページを参照してください。


: File Explorerアイコン
アイコンをタップするとFile Explorer画面に移行します。 39ページを参照してください。

3) OSDポップアップメニュー

ホーム画面から、本体MENUボタンを押すとOSDポップアップメニューを表示します。各アイコンの部分をタップすることで、その機能を選択します。




Home アイコン:ホーム画面に移行します。


Sourceアイコン:入力信号の切り替え画面に移行します。


Off screenアイコン:画面ミュートの設定及び解除を行います。
アイコンのタップで ミュート設定／解除が切り替わります。


Standby アイコン: 電源スタンバイ状態に移行します。


VOL(−) アイコン:音量を下げます。


VOL(+) アイコン:音量を上げます。


Settings アイコン: 設定メニューを表示します。


Back アイコン: ひとつ前の画面に戻します。

メモ

- OSDポップアップメニューはすべての画面モード(ホワイトボード、スクリーンディスプレイ、ファイルエクスプローラ)から選択可能です。
- ディスプレイ任意の位置で、5本の指で画面同時タップを行うと、その場所にOSDポップアップメニューを表示します。

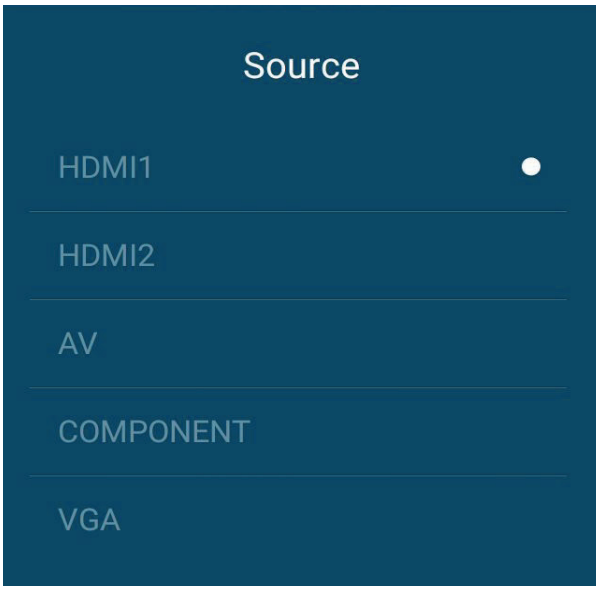
4.2. 入力ソースの切り替え

ホーム画面 Screen display(タッチ操作) / OSD ポップアップメニュー Source(タッチ操作) / リモコン Source(ボタン操作)

ホーム画面またはOSDポップアップメニューの上記アイコンをタップするか、リモコンボタンを押すと入力ソース設定画面に移行します。

HDMI1, HDMI2, AV(コンポジット), COMPONENT, VGAの入力ソースの選択が可能です。

選択する入力ソースのところを画面タップするか、リモコン [∧]/ [∨]ボタンで入力ソースを選択して[OK]ボタンを押すと、入力ソースが切り替わります。



メモ

- 無信号オフ機能:選択した入力ソースが無信号になると、画面に「No Signal」の表示が出ます。無信号状態が60分間続くと電源スタンバイ状態に移行します。

4.3. 機能設定を行う

OSD ポップアップメニュー Settings (タッチ操作) / リモコン SETTING(リモコン)

上記OSDポップアップメニューのアイコンをタップするか、またはリモコンボタンを押すとSetting用のOSD機能メニューが出ます。

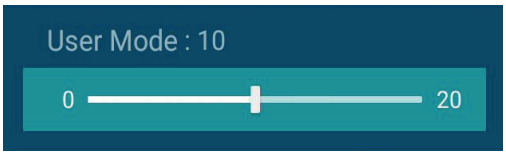
基本的な設定の仕方

選択する機能の部分を直接画面タップするか、リモコン [∧]/ [∨]ボタンで機能を選択して[OK]ボタンを押すことで確定します。すべての項目はタッチ操作及びリモコンで設定が可能です。

調整の仕方

機能設定にはバックライトレベルや映像設定、音声設定で、調整する項目があります。

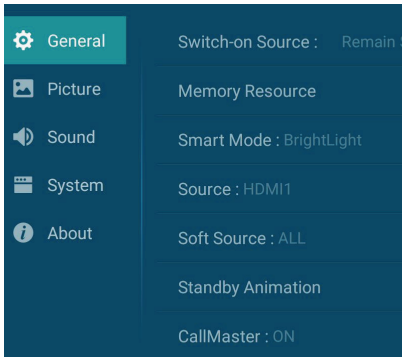
調整モードに入ると、下記調整ゲージが出てきますので、ゲージの部分をタップもしくはスワイプすることで、調整ができます。また、リモコンの [∧]/ [∨]ボタンで調整することもできます。



メモ

- 本機のUSB端子にUSBキーボードを接続した場合、キーボードのカーソル機能で項目選択及び機能を決定することが可能です。詳細は接続するキーボードに付属の説明書をご確認ください。
- 本機のUSB端子にUSBマウスを接続した場合、マウスを使って項目選択や機能決定することが可能です。詳細は接続するUSBマウスに付属の説明書をご確認ください。
- USBキーボードやUSBマウスの機能を保証するものではありません。事前に接続確認することをお勧めします。

4.3.1. General(一般)設定



Switch on Source

主電源オンしてディスプレイ起動したときの、入力ソースを選択します。CallMastor ONの時に機能有効となります。

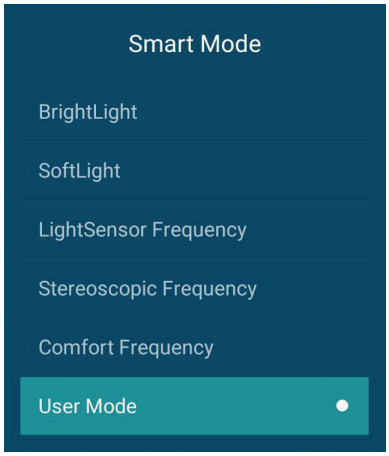
Remain Source(ラストメモリー)、HDMI1、HDMI2、AV(コンポジット)、COMPONENT、VGA　　(出荷設定値:Remain Source)

Memory Resource

内蔵メモリーの空き容量の確認ができます。

メモ　・ 本体の保存メモリサイズは約4GBです。(出荷時のユーザーエリア)

Smart mode



バックライト輝度の設定を行います。

- BrightLight:バックライトレベルを最大設定にします。(出荷設定値)
- SoftLight:バックライトレベルを最大の50%に設定します。
- LightSensor Frequency:

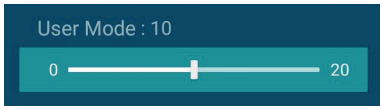
明るさセンサーで周囲の明るさを検出し、周囲が明るいときはバックライトの輝度を上げ、逆に周囲が暗いときはバックライトの輝度を下げます。

- Stereoscopic Frequency:

動画再生において、入力信号が明るい画面の時はバックライトの輝度を上げ、逆に暗い画面の時はバックライトの輝度を下げます。

- Comfort Frequency:

動画再生において、入力信号が明るい画面の時はバックライトの輝度を下げ、逆に暗い画面の時はバックライトの輝度を上げます。



- User Mode:

バックライトレベル マニュアル調整モードです。

右記画面のタップもしくはリモコンの [∧]/ [∨]ボタンでバックライトレベルを0～20の間で調整することができます。(User Mode 初期値:10)

Source

入力ソースを切り替えることができます。(18ページ “4.2. 入力ソースの切り替え”参照)

Soft source

外部PCと接続される入力を指定して、タッチ信号を接続された外部PCに送ります。

HDMI1、HDMI2 VGA、ALL(すべてのチャンネル)が選択可能です。(出荷設定値:ALL)

HDMI1、HDMI2またはVGAが選択されている場合は、その選択されている入力のみが有効です。
ALLに設定した場合は、すべての入力信号が有効となります。

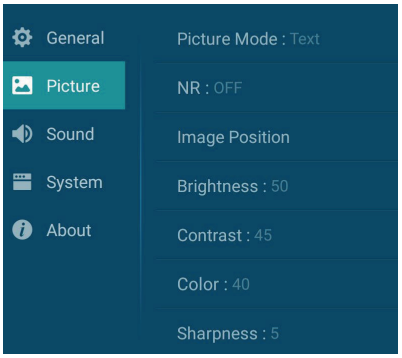
Standby Animation

電源スタンバイ状態に移行する際の、アニメーションのオン/オフを行います。（出荷設定値:ON）

Call Master

オンに設定すると、信号検出により信号のある入力ソースに切り替えます。（出荷設定値:ON）
HDMI2-HDMI1- COMPONENT/AV- VGA の順に信号検出を行います。

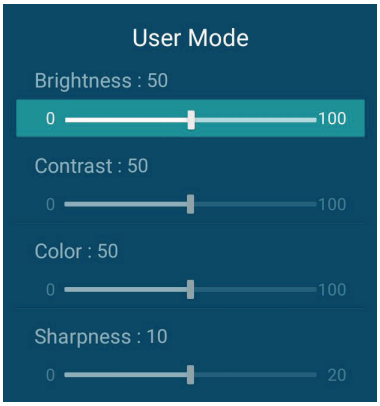
4.3.2. Picture(映像)設定



Picture Mode

表示する画像に適した映像モードを選択できます。

Picture Mode	
設定	**詳細**
Colorful	コントラストや色レベルをあげた、鮮やかな画面設定です。
Standard	標準的な映像モード設定です。
Soft	コントラストや色レベルを抑えた画面設定です。
Cinema	映画の視聴に適した設定です。
Text (出荷設定値)	テキスト画面に適した設定です。
User Mode	お好みの映像設定が可能です。 [調整値] Brightness:0～100 (初期値 50) Contrast :0～100 (初期値 50) Color :0～100 (初期値 50) Sharpness:0～20 (初期値 10)



NR

ノイズリダクションの効果を4段階で調整できます。
OFF, Low, Middle, High （出荷設定値:OFF Text mode選択時）

Image Position

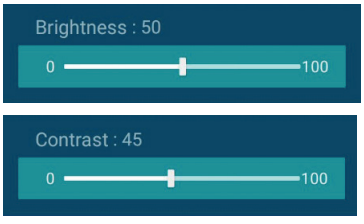
画面効果の選択ができます。
Full Screen:標準で使用するモードです。常にフル画面で表示します。（出荷設定値）
Zoom:画面のズーム出力です。

メモ

- 表示する映像信号のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、画面の周囲が黒で表示されたり、上下左右の端がちらついたりすることがあります。このような場合は、Zoom設定にすることをお勧めします。

Brightness 調整画面
画面の明るさを調整します。 （調整値:0～100）

Contrast 調整画面
画面のコントラストを調整します。 （調整値:0～100）



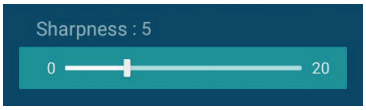
Color 調整画面

画面の色調整を行います。 （調整値:0～100）



Sharpness 調整画面

画面のシャープネスの調整を行います。 （調整値:0～20）



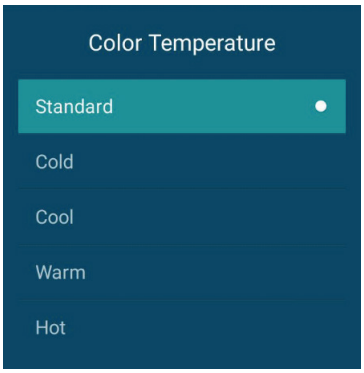
メモ

- Brightness, Contrast, Color, Sharpness の調整を行うと、映像モードはUser Modeに切り替わって調整した値を記憶します。
- 初期値はPicture Modeの設定により異なります。

Color Temperature

画面の色温度を下記の中から選択できます。

Standard	（Text Mode, Standard Mode, Soft Mode, User mode 初期値）
Cold	（Colorful Mode 初期値）
Cool	
Warm	
Hot	（Cinema Mode 初期値）



Hue（AVモードの選択時に有効） 調整画面 （初期値:0）

画面の色相を調整します。 （調整値:-10～10）

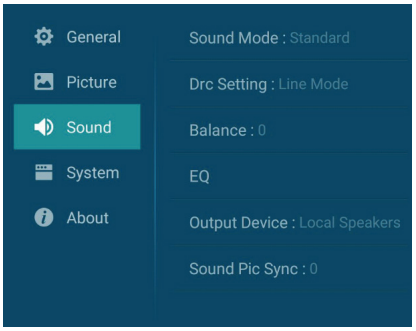


4.3.3. Sound(音声)設定

Sound Mode

表示する画像に適した音声イコライザ設定を選択できます。

Sound Mode	
設定	**詳細**
Standard (出荷設定値)	標準的な音声イコライザ設定です。
Sport	スポーツ映像に適した音声イコライザ設定です。
Cinema	映画の視聴に適した音声イコライザ設定です。
Music	音楽映像の視聴に適した音声イコライザ設定です。
News	ニュース映像の視聴に適した音声イコライザ設定です。
User Mode	お好みの音声イコライザ設定が可能です。 [調整値] 120Hz: -10～10 (初期値 0) 500Hz: -10～10 (初期値 0) 1.5kHz: -10～10 (初期値 0) 5kHz: -10～10 (初期値 0) 10kHz: -10～10 (初期値 0)





Balance

音声LRのバランス調整を行います。

調整画面（初期値:0）
（調整値:-10～10）



EQ

お好みの音声イコライザ設定が可能です。

EQ(イコライザ)設定		
設定	**詳細**	**OSD 画面**
120Hz	-10～10 (初期値 0)	
500Hz	-10～10 (初期値 0)	
1.5kHz	-10～10 (初期値 0)	
5kHz	-10～10 (初期値 0)	
10kHz	-10～10 (初期値 0)	

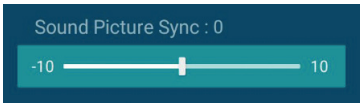
メモ

- EQの調整を行うと、音声モードはUser Modeに切り替わって、調整した値を記憶します。

Sound Picture Sync

音声ライン入力時、映像と音声の同期調整を行います。

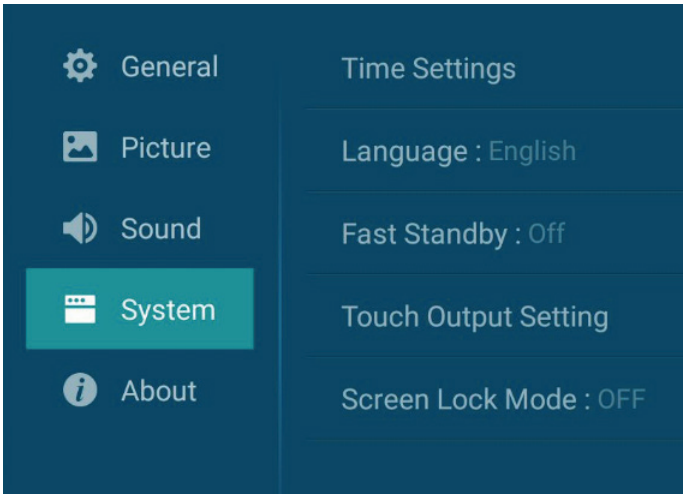
調整画面（初期値:0）
（調整値:-10～10）



メモ

- 本機能はVGA、コンポーネント、AV入力の時、音声ライン入力使用時に有効です。

4.3.4. System(システム)設定

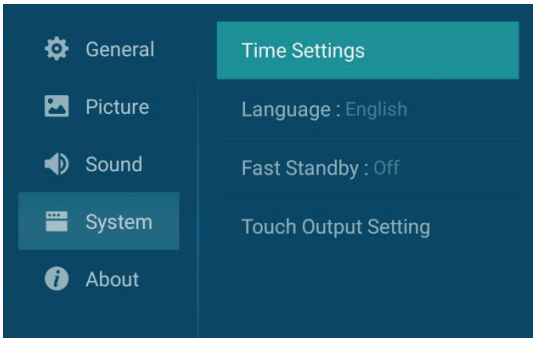


Time Settings

日付及び時間設定を行います。

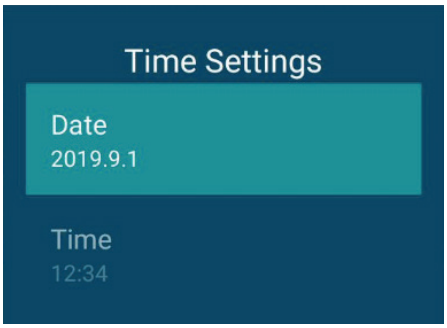
Time Settingsを選択します。

Time Settingsの部分を直接画面タップするか、リモコン [∧]/ [∨]ボタンでTime Settingsを選択して[OK]ボタンを押します。

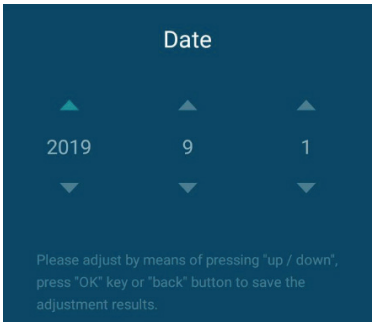


1)日付を設定する。

Dateの部分を直接画面タップするか、リモコン [∧]/ [∨]ボタンでDateを選択して[OK]ボタンを押します。



次にリモコン [∧]/ [∨]ボタンを使って、"年","月""日付"の順に設定を行います。リモコンの[OK]ボタンを押すと日付が確定します。

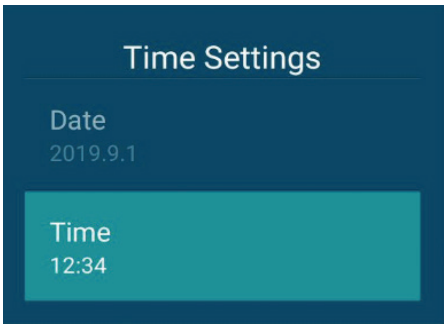


メモ

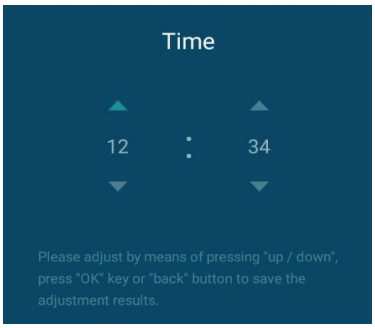
- 右記、Date設定画面の下側に表示されているメッセージは、リモコン操作時のものです。

2)時刻を設定する。

日付と同様にTime Settings メニューでTimeの部分を直接画面をタップするか、リモコン [∧]/ [∨]ボタンでTimeを選択して[OK]ボタンを押します。



次にリモコン [∧]/ [∨]ボタンを使って、"時","分""の順で設定を行います。リモコンの[OK]ボタンを押すと時刻設定が確定します。



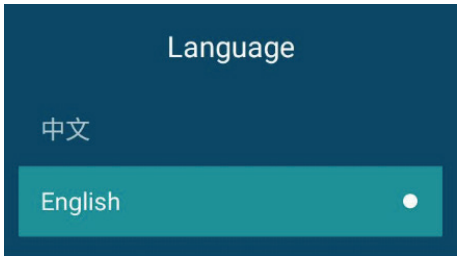
メモ

- 右記、Time 設定画面の下側に表示されているメッセージは、リモコン操作時のものです。

Language

英語OSDまたは中国語OSDを選択します。

（出荷設定値:English）

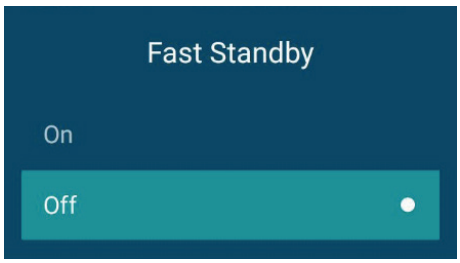


Fast Standby

電源スタンバイ状態の設定を行います。

On: 電源スタンバイ状態からの起動時間を早くします。

Off: 通常の起動設定です。（出荷設定値）



メモ

- Fast Standby On状態でセットを連続でご使用の場合、メモリーに負荷がかかっています。定期的に主電源オフを行ってください。メモリークリアにする効果があります。

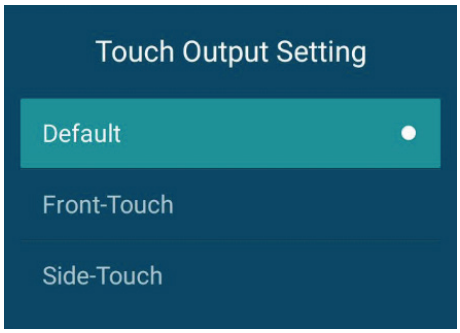
Touch Output Setting

Touch制御信号出力USBポートの設定を行います。

Default: 自動で判別を行います。（出荷設定値）
通常はこのモードでご使用ください。

Front-Touch: Front側USB出力に固定します。

Side-Touch: Side側のUSB出力に固定します。



Screen Lock Mode

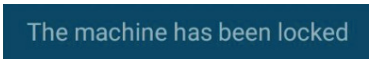
リモコン[🔒]ボタンの有効／無効の設定を行います。

ON: リモコン[🔒]ボタンを有効にします。

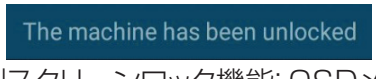
OFF: リモコン[🔒]ボタンを無効にします。（出荷設定値）

メモ

- スクリーンロック機能: 本機の操作に対し、ロックをかける機能です。
  リモコン[🔒]ロックボタンを押すとスクリーンロック／ロック解除の設定を行います。
  スクリーンロック時 :下記表示が出て本体操作が無効になります。



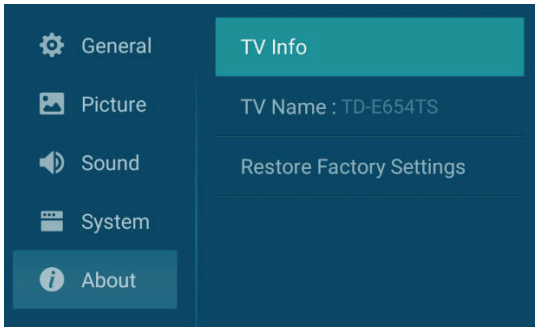
  スクリーンロック解除時:下記表示が出て、本体操作が有効になります。



- 強制スクリーンロック機能: OSDメニューのScreen lock mode設定に関わらず、リモコン音量 ボタンで [+] [−] [+] [−] と押すと強制的にスクリーンロックをかけることができます。本機使用中に、急遽スクリーンロックをかけたい場合に有効な機能です。ロック解除する場合は、再度リモコン音量ボタンで「+」「−」「+」「−」 と押してください。

⚠注意	■ Screen Lock mode “OFF”設定で強制スクリーンロックをかけた場合は、リモコン[🔒]ロックボタンではロック解除できません。リモコン音量ボタンで [+] [−] [+] [−] と押して、ロック解除してください。

4.3.5. About(その他)設定



TV Info

· Software Version

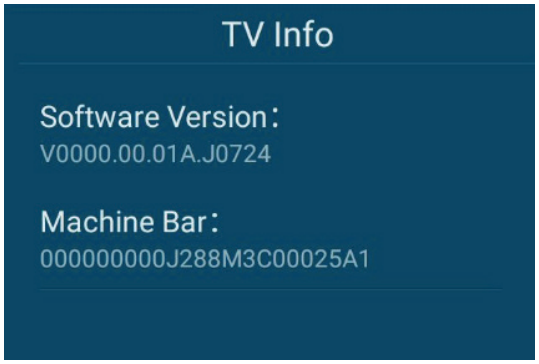
ソフトウエアのバージョン情報を確認できます。

· Machine Bar

セットの製造番号を確認できます。

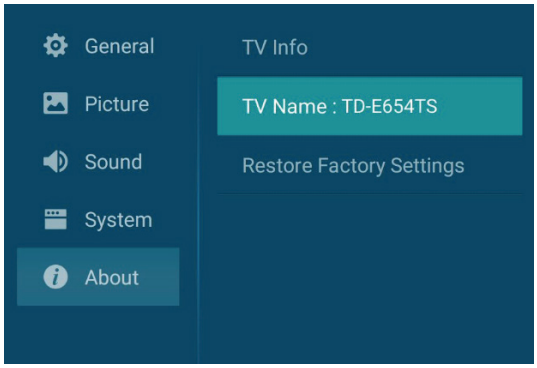
メモ

- 本機のサービスや各種お問い合わせの際には、機種名及びこのSoftware VersionとMachine Barの情報をお伝えください。



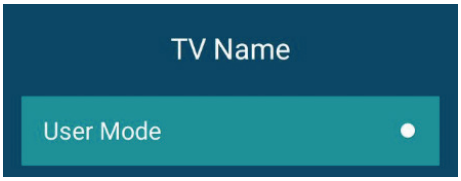
TV Name

出荷設定値で本機の機種名が記載されています。

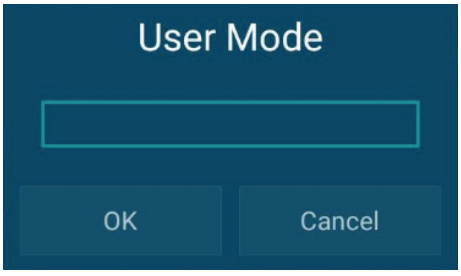


User Modeを選択することで、任意のTV Nameに変更可能です。

User Modeの部分を直接画面タップするか、リモコン[OK]ボタンを押してUser Modeにします。



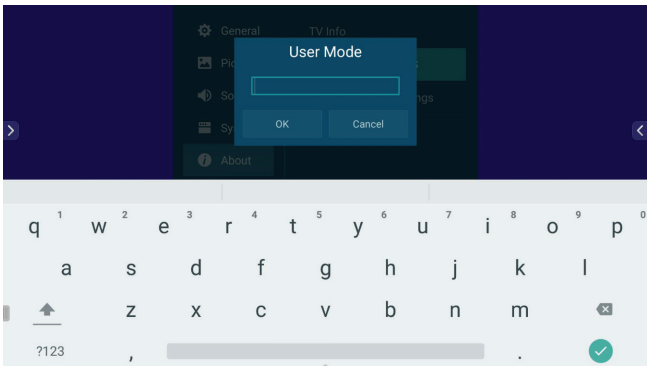
User Modeに入ったら、TV Name欄の入力が可能となりますので、この部分をタップするか、リモコンの[OK]ボタンを押します。



キーボード画面が出ますので、キーボードを使ってTV Nameを入力します。

入力が完了したら、リモコンのカーソルボタンで、画面の「Ok」を選択し、この部分をタップするかリモコンの[OK]ボタンを押して入力を確定します。

再度修正する場合は、画面の「Cancel」を選択してください。



メモ

- TV Nameはキーボードを使って、7文字以内の英数字および記号で入力してください。
  一部の特殊文字は TV Nameに使用できません。

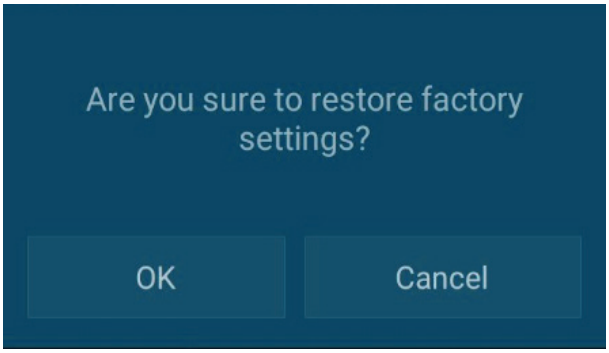
Restore Factory Settings

設定を工場出荷状態に戻します。

Restore Factory Settingsを選択し、右図メッセージが現れます。

画面の「OK」の部分をタップするか、リモコンの[OK] ボタンを押して実行します。

キャンセルする場合は、画面の「Cancel」を選択してください。

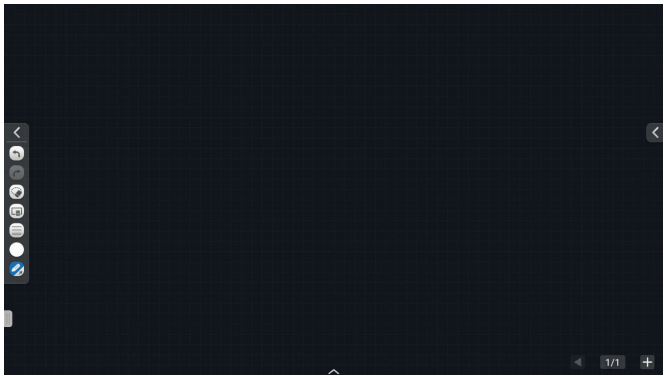


メモ

- Restore Factory Settingsを行うと、設定した日付や時間、User Modeで設定した映像設定及び音声設定は出荷設定値にリセットされます。
- 内蔵メモリーに保存したデータも初期化されてしまいます。必要なデータはあらかじめ内蔵メモリーから、外部メモリーにバックアップを取っておいてください。

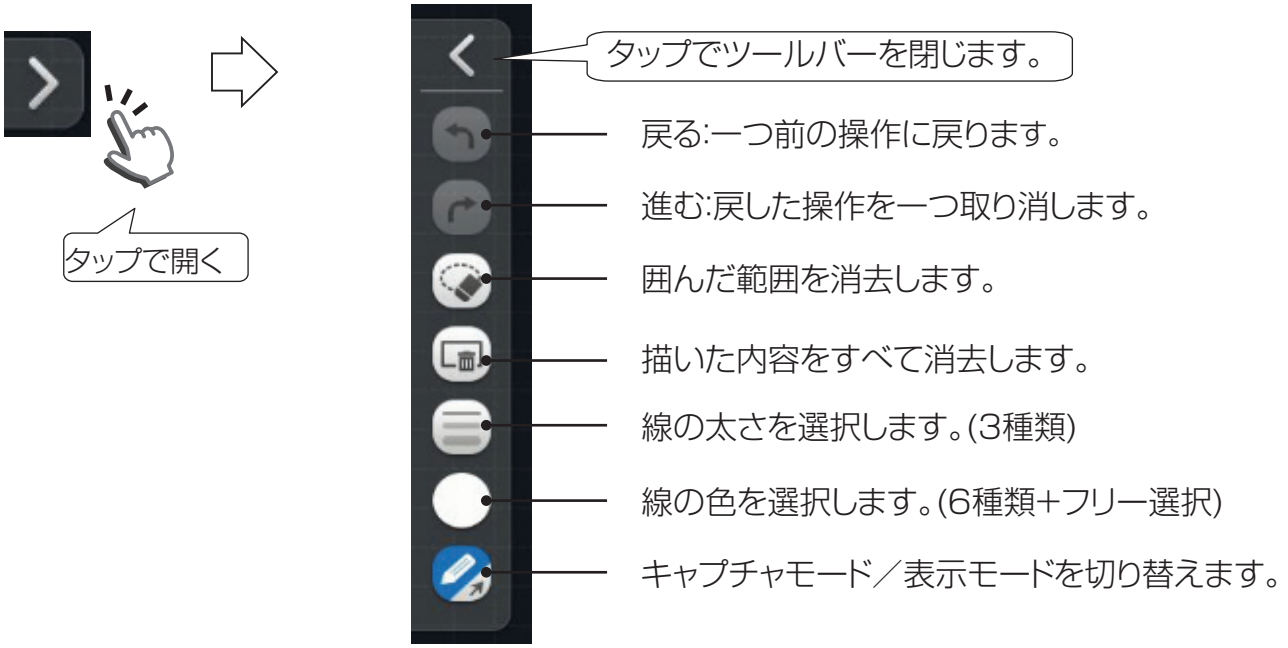
5. ホワイトボードモード

ホーム画面でWhite Board アイコンを選択すると、内部ペンアプリケーションが起動してホワイトボードモードに移行します。この時点で、新規Meetingデータが作成されます。



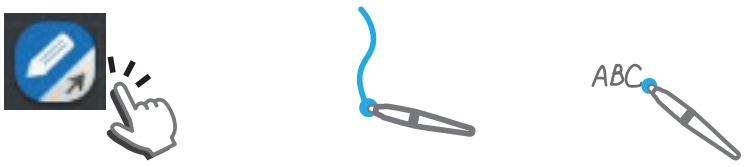
5.1. ホワイトボードに描き込む

ホワイトボードへ描く／消すといった操作は、画面両端のサイドツールバーから行うことができます。



5.1.1. キャプチャモード／表示モード 切り替え

- **キャプチャモード:**キャプチャモードを選択すると、線を描いたり、消したりすることができます。
  付属のスタイラスペンまたは指先で画面に文字や線を描くことができます。



描画の移動

描画した付近を2本以上の指で同時にタッチします。同時タッチした状態で移動したい方向にスワイプすると、描画全体が移動します。

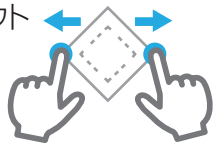


描画の拡大･縮小

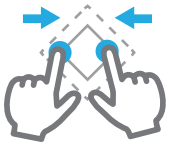
描画した付近を2本の指で同時にタッチし、この状態から、ピンチアウトを行うと、描画全体が拡大します。

2本の指で同時タッチされた状態から、ピンチインを行うと、描画全体が縮小します。

ピンチアウト



ピンチイン



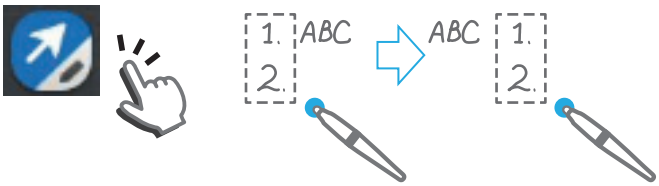
- **表示モード:**表示モードを選択すると、描画を範囲選択して移動、選択、拡大･縮小、回転させることができます。

描画の移動

移動する描画の範囲を矩形で囲んで選択するとその範囲が枠線で指定されます。

枠線内部をタッチして移動したい方向にドラッグと指定した範囲の描画が移動します。

また、キャプチャモードと同一操作で描画の全体移動操作も可能です。



描画の拡大･縮小

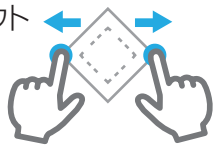
拡大･縮小する描画の範囲を矩形で囲んで選択するとその範囲が枠線で指定されます。

枠線の内部を2本の指でタッチして、ピンチアウトを行うと、選択した範囲の描画が拡大します。

逆に、範囲指定された状態から、ピンチインを行うと、選択した範囲の描画が縮小します。

また、キャプチャモードと同一操作で描画の全体拡大･縮小操作も可能です。

ピンチアウト



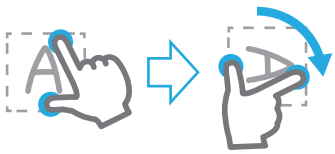
ピンチイン



描画の回転

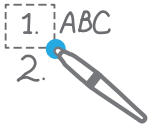
回転させる描画の範囲を矩形で囲んで選択するとその範囲が枠線で指定されます。

その選択枠内に2本の指先で画面にタッチします。片方の指先を軸として、もう一方の指先をコンパスのように回転させると、その回転方向に選択した部分が回転します。



5.1.2. 線･描画の削除

- **範囲指定削除:**これを選択すると、タッチ操作で囲んだ範囲を消去します。指またはスタイラスペンで消去する範囲を指定します。

- **全描画削除:**描いた内容をすべて消去します。



- **消しゴムモード:**手のひら等、面で画面に触れると消しゴムモードとなり、描画を消去することができます。画面にタッチするエリアの面積で消しゴムの大きさが設定できます。



メモ

- この操作はスタイラスペンではできません。

5.1.3. 線の太さの選択

細線、中太線、太線の3種類の選択ができます。設定はミーティングの間で有効で、エンドミーティング実施や電源オフ／オンで出荷設定値に戻ります。(出荷設定値: 細線)

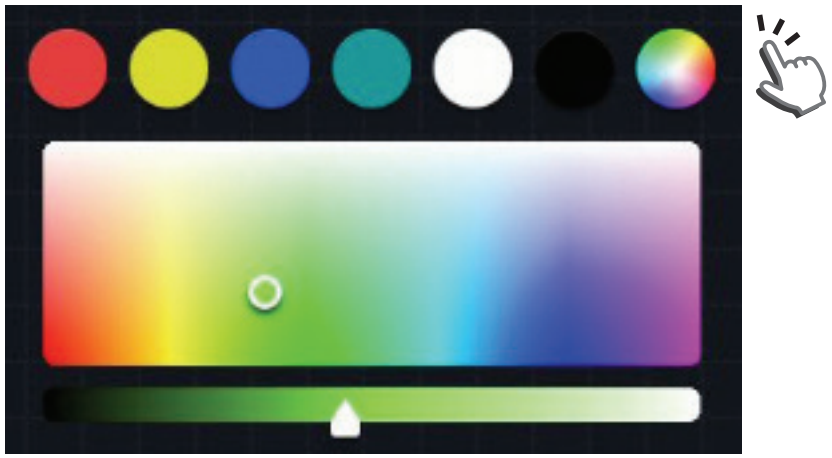


5.1.4. ペンの色選択

赤、黄、青、緑、白、黒の6色の選択ができます。また、任意の色設定を行うことも可能です。設定はミーティングの間で有効で、エンドミーティング実施や電源オフ／オンで出荷設定値に戻ります。(出荷設定値: 白)



任意の色設定を選択すると、お好みの線の色を選択することができます。



5.1.5. ページ切り替え

- 画面右下のアイコン操作でページを切り替えます。

- ページ追加



このアイコンをタップするとページを追加します。

- ページ戻し



このアイコンをタップすると一つ前のページに戻します。

- ページ送り



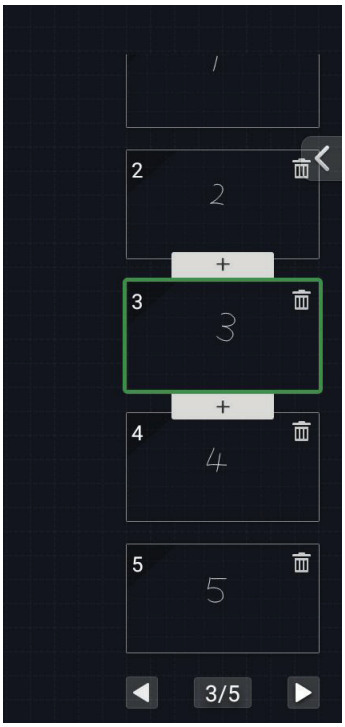
一度ページが作られると、ページ送りアイコンを表示します。このアイコンをタップすると次のページに戻します。

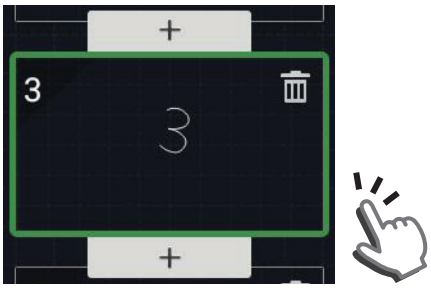
- ページ表示



現在の作業ページを表示します。このページ部分をタップすると画面右端に各ページのサムネイルを表示します。

- ページサムネイル





ページサムネイルからページを選んでタップすると、選択したページに移行します。



ページサムネイルの上下に現れる+マークをタップすると、ページを追加します。



ページサムネイルにあるごみ箱マークをタップすると、そのページを削除します

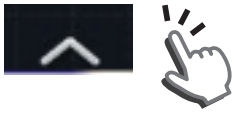
メモ

- ホワイトボードモードは最大20ページまで対応しています。

5.2. ホワイトボード画面を保存する

5.2.1. ボトムツールバー表示

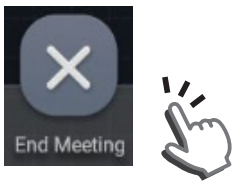
画面下部のボトムツールバーを表示します。





5.2.2. エンドミーティング

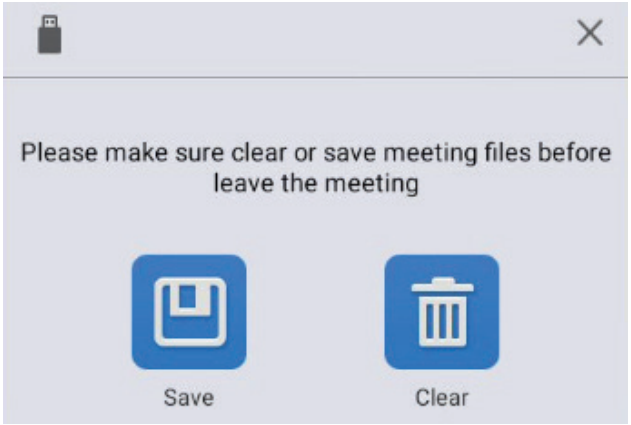
End Meetingアイコンをタップすることで作業内容を保存してミーティングを終了します。



End Meetingを行うと、保存を促すメッセージが出てきます。

Saveを選択: 描いた描画を保存して、ミーティング(ホワイトボードモード)を終了してホーム画画に戻ります。

Clearを選択: 描いた描画を保存せずに、ミーティング(ホワイトボードモード)を終了してホーム画面に戻ります。



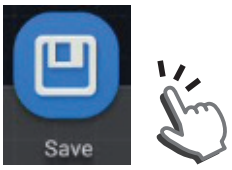
メモ

- ホワイトボードモード起動から、エンドミーティングまでが一つのミーティングとなります。
  ミーティング毎にミーティング フォルダが作成されます。保存するフォルダー及びファイル詳細は
  39ページ「7.File explorerの操作」を参照してください。
- 1日最大99までミーティングフォルダが作成可能です。

⚠注意	■ End MeetingでClearを選択すると、それまでのデータはすべて消えてしまいます。 保存したいデータは必ずEnd MeetingでSaveを行ってください。

5.2.3. データ途中保存

Saveアイコンをタップすることで、作業途中のファイルを保存します。



Saveを行うと、描いた描画を保存して、ミーティング(ホワイトボードモード)を継続します。

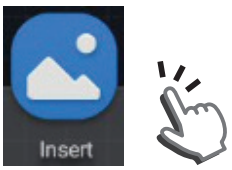
メモ

- 保存するファイルについては、「7. File Explorerの操作」を参照してください。

⚠注意	■ End MeetingでClearを選択すると、途中保存したデータは消えてしまいます。 保存したいデータは必ずEnd MeetingでSaveを行ってください。

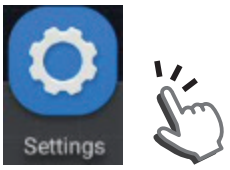
5.2.4. 画面インサート

本体メモリーまたはUSBメモリーの静止画ファイル(ミーティングで保存したPNGファイルや写真などのJPEGやPNGファイル)をホワイトボード上に挿入できます。

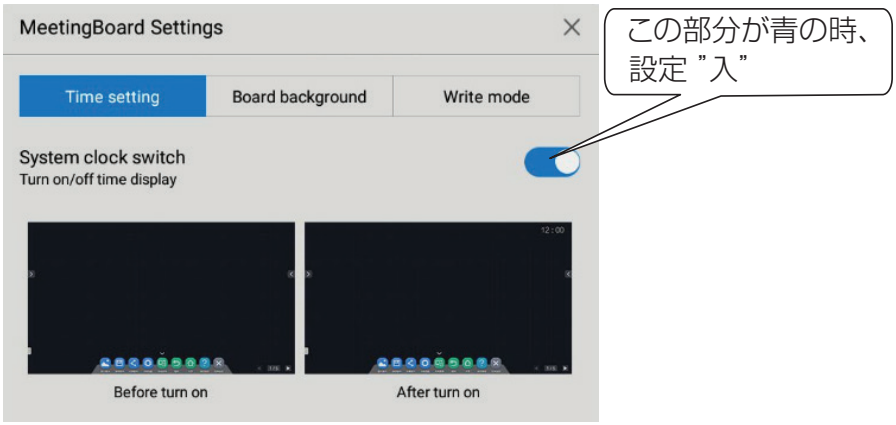


5.2.5. Settings

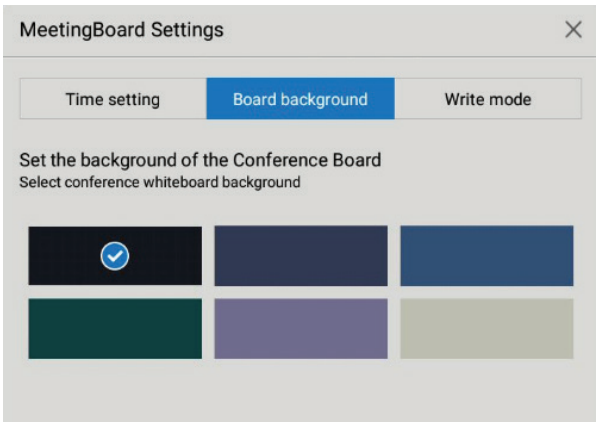
ホワイトボードモードの設定を行います。



- **Time Setting :**ホワイトボード画面に対する時刻表示の入／切を行います。（出荷設定値: 入）



- **Board Background:**ホワイトボード画面に対する背景色の設定を行います。6色から選択可能です。



– Board Background

ホワイトボードモードの背景画面の設定を行います。

ブラック (出荷設定値)
ネイビー
ブルー
ダークグリーン
バイオレット
パールグレー

- **Write Mode:**タッチポイント及び描く線の効果設定を行います。



– Set write mode（出荷設定値: Single）

有効タッチ数の設定を行います。

Single: 1点のタッチポイントが有効です。

Multi: 最大20点のタッチポイントが有効です。
これにより、複数人での書き込みが可能です。

– Brush Effect（出荷設定値: 有効）

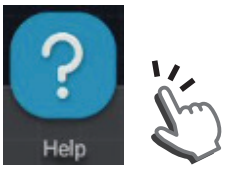
描画する線の効果の設定を行います。

Brush Effectを有効にすると、毛筆効果で線が太くなります。

線の太さの設定と組み合わせてご使用ください。

5.2.6. Help

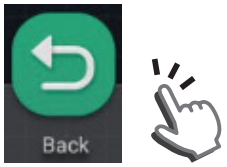
Helpアイコンをタップすると、操作ガイドが表示されます。操作方法が判らないときに参考にしてください。



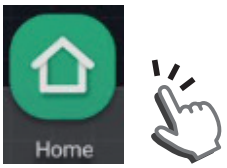


5.2.7. その他 ボトムツールバーアイコン

Return：一つ前の操作に戻ります。



Home: ホーム画面に移行します。



⚠注意	■ ホーム画面に移行した場合、データは保存されません。 保存する場合は、一時保存もしくはEnd MeetingでSaveを行ってください。

5.3. メモパッドを使う

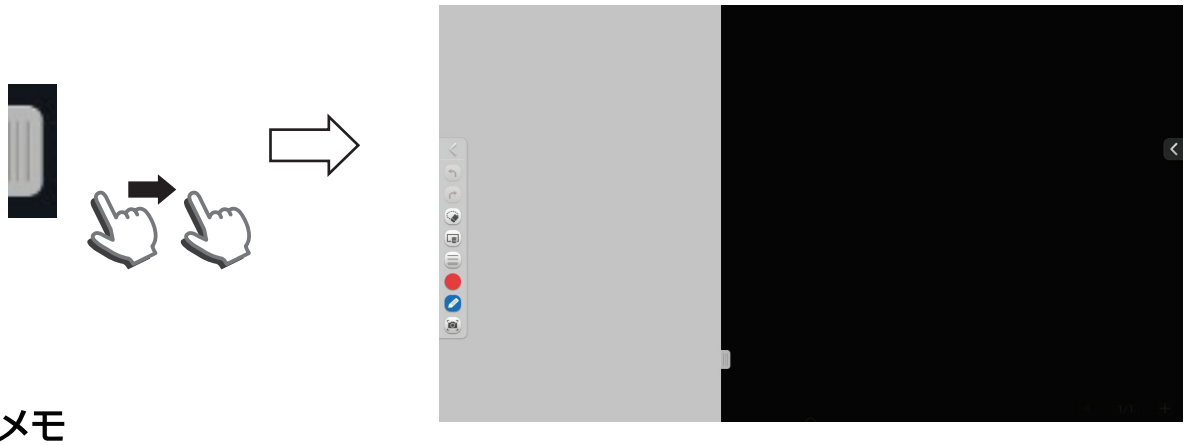
通常のホワイトボードモードとは別にメモパッドモードを準備しています。

ミーティングのアジェンダや会議メモを記載等、ホワイトボードモードの内容と分けて記載するのに有効なモードです。

5.3.1. メモバッドの操作

画面左端にあるタブをスワイプして、メモパッドを引き出します。

ホワイトボードモードに戻るときは、逆の操作で画面左端までタブを戻します。



メモ

- 完全にタブを引き込まないとホワイトボードのモードに移行できません。
- ペンのエフェクト効果設定はできません。
- 背景色は白から変えられません。
- マルチタップ(複数人での書き込み)は未対応です。

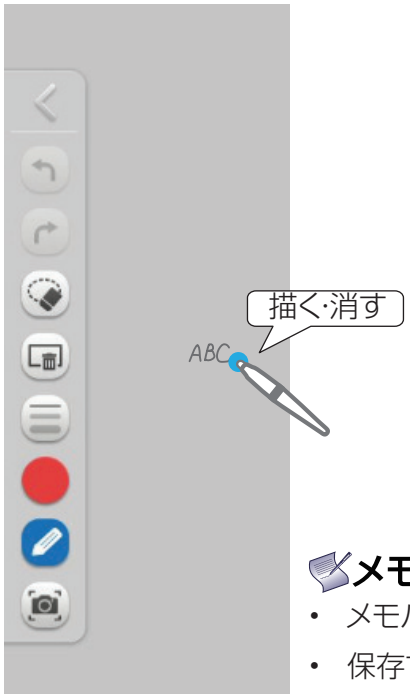
5.3.2. メモパッドへの記載

メモパッドにサイドツールバーを使って描き込みを行います。

基本の描く／消すといった操作はホワイトボードモード共通です。「5.1. ホワイトボードに描き込む」を参照してください。

メモ

- メモパッドはキャプチャモードのみ有効です。記載した内容は画面キャプチャで保存可能です。





画面キャプチャ

画面キャプチャを行います。キャプチャしたデータはPNG形式で保存されます。

メモ

- メモパッドの時、ペンの色の出荷設定値は赤となります。
- 保存するファイルについては、「7. File Explorerの操作」を参照してください。

6. スクリーンディスプレイモード

本機に映し出された外部ソース画面に描き込むことができます。

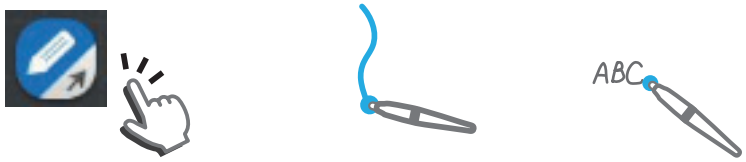
ホーム画面でScreen Displayアイコンを選択して、入力ソースを選択すると、スクリーンディスプレイモード(入力ソースに対する描き込みモード)に移行します。画面キャプチャした時点で新規Meetingデータが作成されます。

基本の描く／消すといった操作はホワイトボードモードと共通です。27ページ「5.1. ホワイトボードに描き込む」を参照してください。

6.1. 入力ソース画面への描き込み操作

6.1.1. モード切り替え

- **キャプチャモード:** キャプチャモードを選択すると、線を描いたり、消したりすることができます。
  付属のスタイラスペンまたは指先で線を描けます。



メモ

- スクリーンディスプレイモードの時、ペンの色の出荷設定値は赤となります。

- **表示モード:** 通常の外部入力ソースの視聴画面です。
  また、本機のタッチ機能を使って直接PCを操作することができます。



メモ

- 外部入力ソースにおいて、サイドや下に出るタグは非表示にできません。
- 基本の描く／消すといった操作はホワイトボードモード共通です。27ページ「5.1. ホワイトボードに描き込む」を参照してください。
- 接続するPCに付属の取扱説明書をご確認ください。
- タッチ操作可能なPCのOSはWindows 7及び Windows 10となります。ただし、すべてのPCでの操作を保証するものではありません。

⚠注意	■ スクリーンディスプレイモードでは、描き込み途中にモード移行操作を行うと描いた内容がすべて消えてしまいます。 保存必要なデータは画面キャプチャとEnd MeetingでSaveを行ってください。

6.1.2. 画面キャプチャ





Screen Displayモードで描画した内容は画面キャプチャにて保存します。
キャプチャしたデータはPNG形式で保存されます。

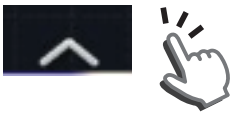
メモ

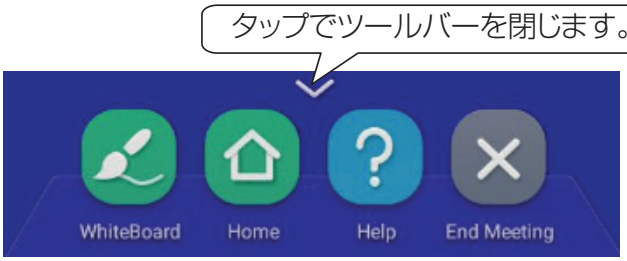
- 保存するファイルについては、「7. File Explorerの操作」を参照してください。

注意	■ Blu-rayやDVD、地上デジタル放送等の信号には著作権保護による暗号化(HDCP)がかけられています。このような入力信号に暗号化(HDCP)がかかっている場合、画面キャプチャはできません。(画面キャプチャアイコンがグレーアウトします。)

6.1.3. データの保存

- 画面下部の下記アイコンをタップするとボトムツールバーを表示します。





- **End Meeting:** End Meetingアイコンをタップすることでミーティングを終了します。End Meetingを行うには、画面キャプチャにより描画内容を保存する必要があります。



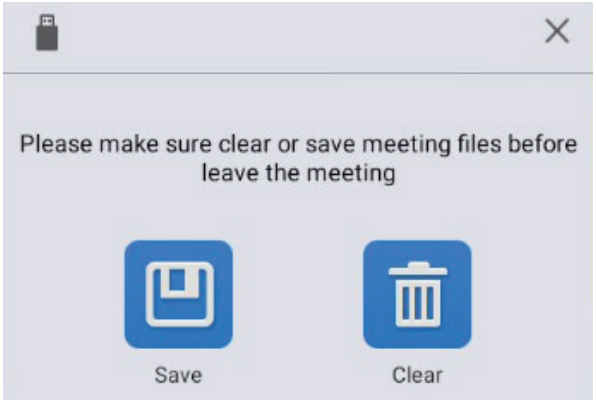
メモ

- End Meetingアイコンは画面キャプチャを行うことで、ボトムツールバー上に配置されます。

End Meetingを行うと、保存を促すメッセージが出てきます。

Saveを選択: 画面キャプチャしたデータを保存して、ミーティング(スクリーンディスプレイモード)を終了、ホーム画面に戻ります。

Clearを選択: 画面キャプチャしたデータを破棄して、ミーティング(スクリーンディスプレイモード)を終了、ホーム画面に戻ります。



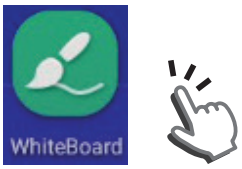
メモ

- スクリーンディスプレイモードでの描画データの保存は画面キャプチャを行う必要があります。
  ミーティング終了時は、必ず画面キャプチャを行ってから、End Meetingによる保存を行ってください。
- ペンのエフェクト効果設定はできません。
- スクリーンディスプレイモードでペンで書いて保存したPNGファイルを表示すると、実際の色と違った色合いになり、画質が低くなります。
- マルチタップ(複数人での書き込み)は未対応です。
- ホワイトボードと共通のメモパッドへの記載ができます。

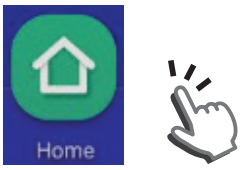
注意	■ End Meetingで"Clear"を選択すると、画面キャプチャしたデータはすべて消えてしまいます。必要なデータは必ず"Save"を行ってください。

6.1.4. その他アイコン

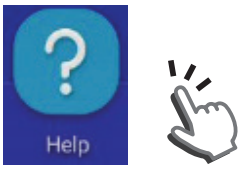
- **White Board:** ホワイトボードモードに移行します。



- **Home:** ホーム画面に移行します。

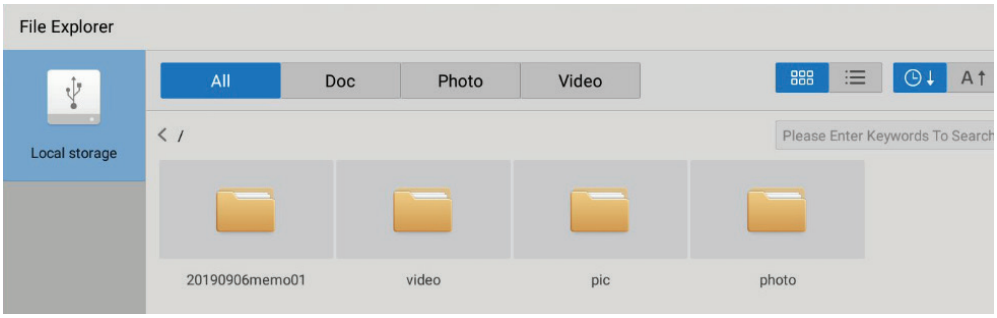


- **Help:**ヘルプ画面を表示します。



7. File Explorerの操作

ホワイトボードモード及びスクリーンディスプレイモードで本体メモリーに保存したデータ及びUSBメモリーのメディアファイルをFile Explorerで開くことができます。



7.1. ファイル保存形式

7.1.1. ミーティングフォルダ

ミーティングを開始すると、下記の通りフォルダが作成されます。

フォルダ名:日付(yyyymmdd) + memo + ミーティング番号(01～99)

例） 2019年 9月10日 最初のミーティングフォルダ:

20190901momo01

7.1.2. ホワイトボードモードの保存形式

ホワイトボードモードで描画したデータは、PNG形式とHMF形式（ホワイトボードアプリケーション作業ファイル）で保存されます。

ファイル名:日付(yyyymmdd) + memo + ミーティング番号(01～99).hmf

日付(yyyymmdd) + memo + ミーティング番号(01～99)_01.png

例） 2019年 9月1日 最初のミーティングで作成したデータ:

20190901momo01.hmf

20190901momo01_01.png

7.1.3. 画面キャプチャデータの保存形式

スクリーンディスプレイモード及びホワイトボードモードのメモパッド機能で画面キャプチャしたデータはPNG形式で保存されます。

ファイル名: 日付(yyyymmdd) + タイムスタンプ.png

注)タイムスタンプ:画面キャプチャした時間(hhmmss)

例） 2019年 9月1日 pm3:05:20に作成したデータ:

20190901_150520.png

7.2. File Explorer基本操作

7.2.1. フォルダの分類



- All: ファイル及びフォルダを表示します。
- Doc: すべてのテキストファイルのみを抽出し表示します。
- Photo:すべての画面チャプチャー等の静止画のファイルのみを抽出し表示します。
- Video:すべての動画、音声のファイルのみを抽出し表示します。

メモ

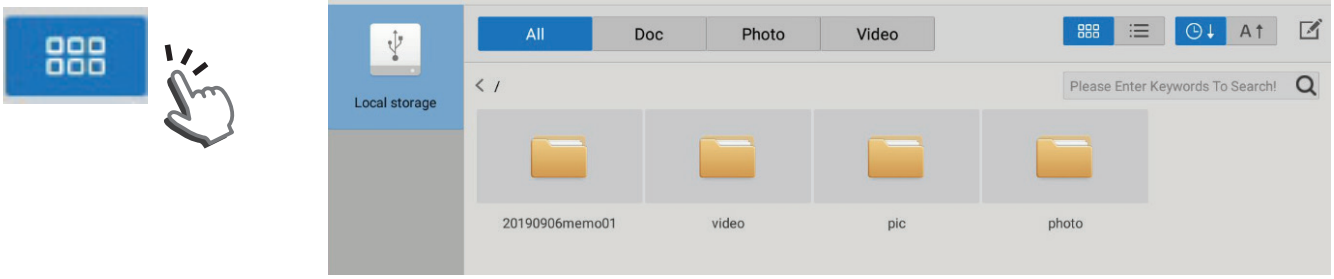
- 英数字によるファイル名を推奨します。USBで漢字、ひらがな、カタカナなどを含むファイル名を表示した場合、文字化けすることがあります。

注意	■ ファイル名に半角スペースや特殊文字は使用しないでください。ファイルが開けない場合があります。

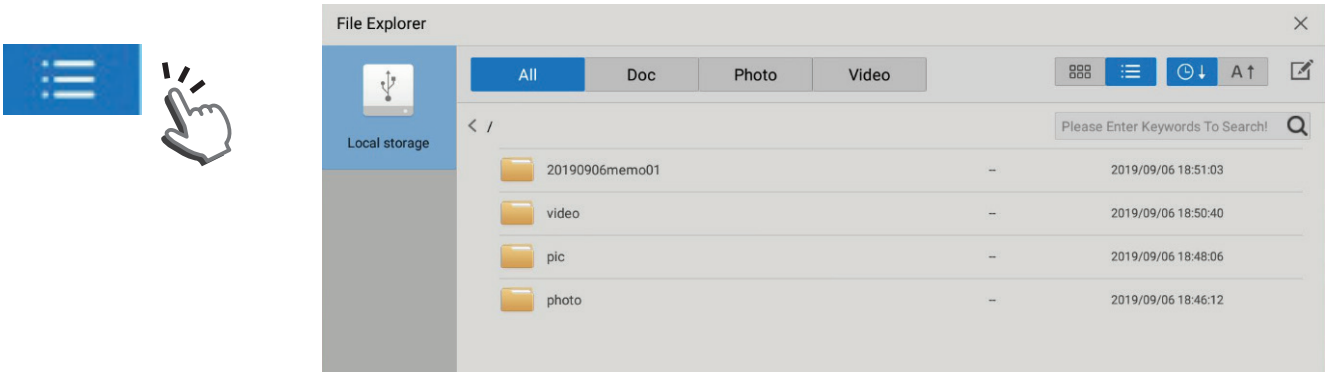
7.2.2. フォルダ表示機能

- アイコン表示/詳細表示の選択

アイコン表示選択:アイコンにてファイル表示を行います。



詳細表示選択:ファイル名にてファイル表示を行います。

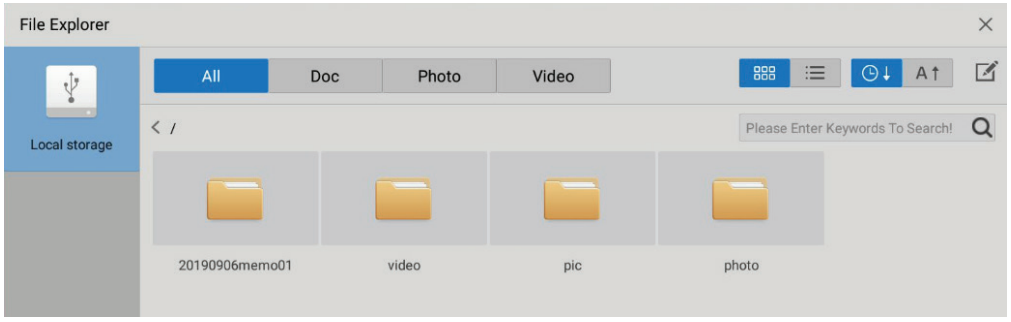


- ファイルソート機能の選択

日付でソート:フォルダ及びファイルを保存した日付順でソートします。

また、アイコンのタップを繰り返すことで、昇順/降順がサイクリックに切り替わります。

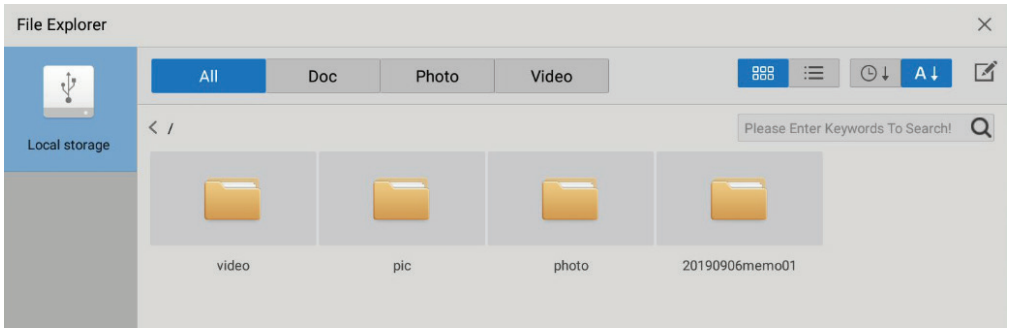




名前でソート:ファイル名にてソートします。(ソート順位:数字ーアルファベットの順)

また、アイコンのタップを繰り返すことで、昇順/降順がサイクリックに切り替わります。





メモ

- ソート順位は、数字ーアルファベットの順になります。

7.3. 保存データを開く

保存フォルダをダブルタップします。

HMFまたはPNGファイルを選択し、ダブルタップすると、そのファイルが開きます。

開いたファイルに追加で書き込みなど操作ができます。

7.4. 保存データを操作する

HMFデータを選択してダブルクリックすると、ホワイトボードモードでそのファイルが開きます。

ファイルを開いた時点でミーティング開始となり、新規ミーティングフォルダが作成されます。

このファイルで描画後、End MeetingでSaveを行うと、このミーティングフォルダ内にHMFファイルが保存されます。

PNGデータを選択してダブルクリックすると、スクリーンディスプレイモードでそのファイルが開きます。

画面キャプチャを行うと新規ミーティングフォルダが作成されます。

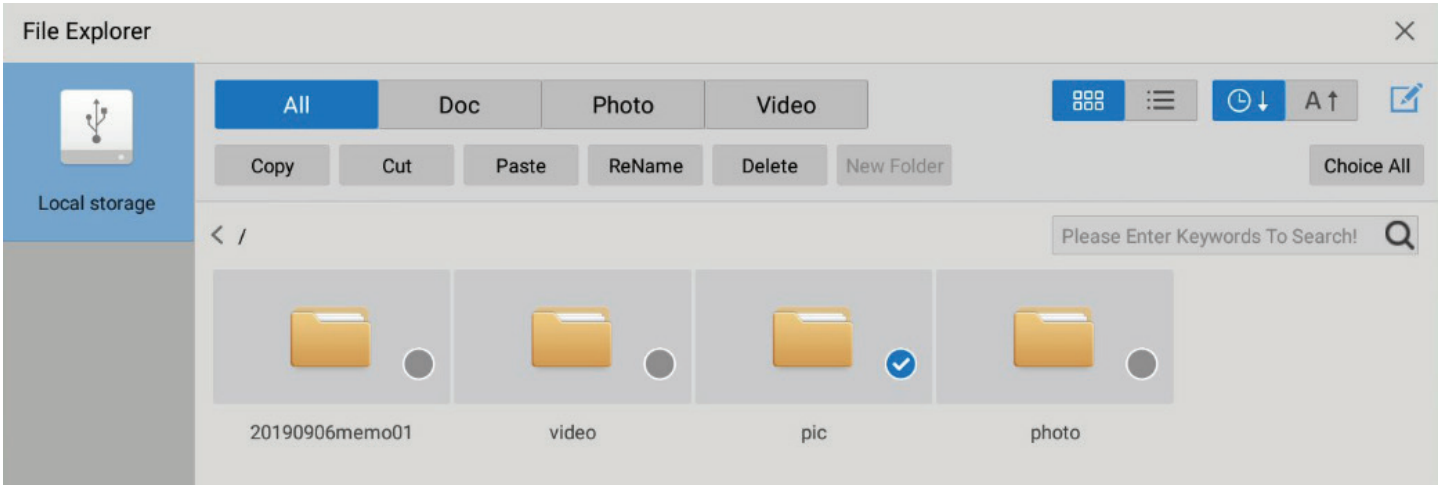
このファイルで描画後、画面キャプチャしてEnd MeetingでSaveを行うと、このミーティングフォルダ内にPNGファイルが保存されます。

7.5. 保存データのコピー・移動・消去を行う

ファイルエスプローラ画面 右上の マークをタップすると、マークが青色となり、アクティブモードに移行します。



操作するフォルダ及びファイルを選択します。



以下の操作バーから、ファイルの操作を選択します。



Copy: 選択したデータのコピーを行います。

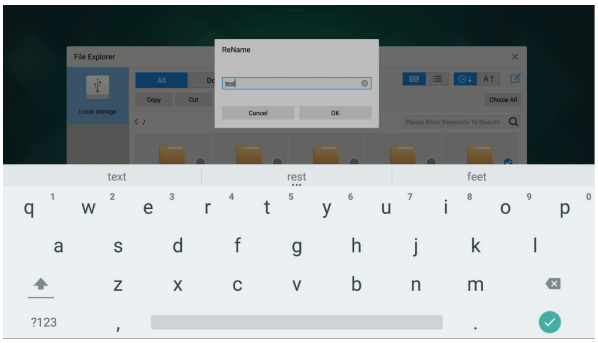
Cut: 選択したデータの切り取りを行います。

Paste: コピーまたは切り取ったデータの貼り付けを行います。

ReName: 選択したデータのファイル名のリネームを行います。
これを選択すると、右記キーボード画面に移行します。
キーボードにて新しいファイル名入力します。

Delete: 選択したデータの削除を行います。

New Folder:新しいフォルダを作成します。







Choice Allをタップすると、全ファイルを選択します。

Choice AllとCancelがサイクリックに切り替わります。

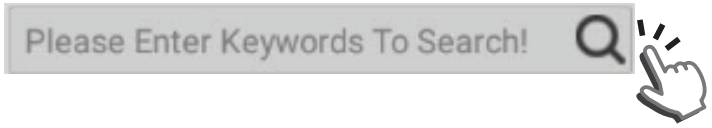
フォルダやファイルを一括でコピーや切り取りを行うときに有効な機能です。

メモ

- Copy&Paste機能を使って本体メモリーとUSBメモリー間でデータをコピーできます。
- Cut&Paste機能を使って本体メモリーとUSBメモリー間でデータを移動ができます。
- Cut, Copy, Pasteはファイルエクスプローラ上のファイル種別All選択時に有効です。
- OSDキーボードは文字入力時、英単語の入力候補を表示します。

⚠注意	■ USBメモリーおよび本体メモリー動作中に電源を切らないでください。データが破損する可能性があります。保存するデータは製品保証の範囲外です。 ■ ファイル名に半角スペースが使われているファイルはコピーできません。 ■ ReNameで入力するファイル名は、英数字が有効です。半角スペース及び特殊文字は使用できません。

簡易検索



ここを選択すると、キーボード入力に移行します。

キーワードを入力すると、そのキーワードを含むフォルダおよびファイルを検索します。

7.6. メディアファイルを再生する

File Explorerから動画、静止画、音楽ファイルを選択して再生します。

メモ

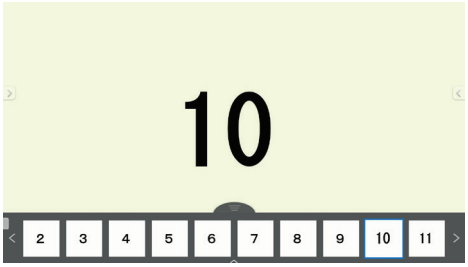
- USBメモリーまたは本体メモリーに保存された動画、静止画、音楽ファイルを選択して再生可能です。サポートフォーマットは「メディアプレイヤーサポートフォーマット」を参照してください。

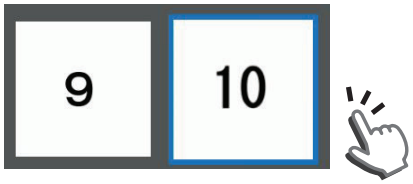
7.6.1. Photo file

File Explorerの フォルダ分類でPhotoフォルダを選択すると、その直下にPhotoファイルが表示されます。
ここで、表示したいファイルを選んでダブルタップすると、選択したファイルを表示します。

サムネイル表示

Photoファイル再生中のリモコン[OK]ボタンを押すことで、サムネイルの表示／非表示が切り替わります。





サムネイル画面をタップすると、その画面を全画面表示します。



ここをタップすると、サムネイルを送って次のファイルの表示を行います。



ここをタップすると、サムネイルを一つ前のファイルの表示を行います。

メモ

- 表示順番はソート機能で設定された順番となります

メモ

- Photoファイル再生中に画面下部のタグをタップすることでも、サムネイルの表示/非表示を行えます。





メモ

- Photoファイル再生時に、リモコンの[OK]ボタンを押すと、サムネイルの表示／非表示がサイクリックに切り替ります。

Cute Smart機能

Photoファイル再生時に、リモコン「File Menu」ボタンを押すとCute Smartメニューが起動します。

このメニューよりphotoファイル再生時の効果設定を行います。

- Photo Slide Setting

  スライドショーの設定を行います。

  2s(秒)、3s、5s、10s、20s、Close(スライドショーオフ)の設定が可能です。(出荷設定値:Close)

メモ

- スライドショーの設定を行うと、本体あるいはUSBメモリーにある全ての静止画ファイルを再生します。本機にはプレイリストの機能はありません。
- スライドショーの遷移のタイミングでファイルローディングを示すOSDが表示されます。

- Open/Close Background Music

  静止画再生時のバックグラウンドミュージックのオフ／オンを選択します。

  Close: オフ (出荷設定値)

  Open: オン

- Background Music Setting

  バックグラウンドミュージックの選択を行います。

メモ

- バックグラウンドミュージックの再生を行うには、あらかじめ本体あるいはUSBメモリのルートフォルダに「Photo」フォルダを作成して、その中に任意の静止画ファイルと音声ファイルを保存しておく必要があります。
- 本体の静止画には本体の「Photo」 フォルダ内の音声ファイル、USBの静止画にはUSBの「Photo」フォルダ内の音声ファイルが選択できます。「Photo」 フォルダ内のPhotoファイル以外のPhotoファイルでもバックグラウンドミュージックの再生が可能です。
- Musicファイルを複数保存することで、バックグラウンドミュージックの選択が可能です。

- Enlarge

  画面の拡大を行います。

  Smart: フル画面にスケーリングして表示します。(出荷設定値)

  Original: 静止画ファイルの画素数の1/2で表示します。

  2 Multiple: Originalの出力を2倍に拡大して表示します。

  4 Multiple: Originalの出力を4倍に拡大して表示します。

  8 Multiple: Originalの出力を8倍に拡大して表示します。

メモ

- パネル画素数に対する、静止画ファイルの画素数で表示します。本機の出力解像度は1920x1080ですが、液晶パネル画素数は3840x1260です。Originalのサイズにおいて静止画ファイルの画素数が3840x1260の時、フル画面となります。

- **Rotate**

  90°ー 180°−270°−360°と 90°ステップで画面を回転します。

- **Detail**

  再生するファイルの情報(ファイル名、画素数、サイズ)を表示します。

- **Help**

  静止画再生時、リモコンボタンでサポートするファンクションを表示します。

  <リモコンボタン操作>

  [OK] ボタン: サムネイルの表示／非表示を行います。

  [Back] ボタン: File explorer画面に戻ります。

  [>] ボタン : 次の静止画に移行します。

  [<] ボタン: 一つ前の静止画に移行します。

7.6.2. Video file

File Explorerの フォルダ分類でVideoフォルダを選択すると、その直下にVideoファイルが表示されます。
ここで、表示したいファイルを選んでダブルタップすると、選択したファイルを再生します。

Cute Smart機能

Videoファイル再生時に、リモコン「File Menu」ボタンを押すとCute Smartメニューが起動します。
このメニューよりVideoファイル再生時の効果設定を行います。

- **Now Playing**

  再生しているファイルの情報を表示します。

- **Audio Track**

  音声トラックの情報を表示します。複数の音声トラックがある場合はどちらを再生するか選択できます。

- **Subtitle**

  Subtitleの情報を表示します。複数のSubtitle情報がある場合は、どちらを再生するか選択できます。

- **Advanced Setting**

  Image Zoom

  画面の出力サイズの設定を行います。

  Full Screen: フル画面にスケーリングして表示します。

  Scaled Screen: オリジナルの縦横比をキープしながら、スケーリングした出力で表示します。

  Original: オリジナルの解像度で表示します。

  Full Screen By 4:3: 垂直方向がフルとなるよう画面サイズを拡大します。
  (16:9の入力ソースでは、横方向が圧縮します。)

  Full Screen By 16:9: 水平/垂直双方フル画面となるよう画面サイズを拡大します。

  Subtitle Color

  Subtitleの表示色を選択します。

  White(白)、Black(黒)、Red(赤)、Green(緑)、Blue(青)、Yellow(黄)の6色から選択ができます。

  出荷設定値はWhite(白)が選択されています。

- **Play Mode**

  再生モードの選択を行います。

  Repeat: 選択したファイルの繰り返し再生を行います。(出荷設定値)

  Single: 選択したファイルを1回再生します。

メモ

- 本機にはプレイリストの機能はありません。

- **Detail Info**

  再生するファイルの情報(コーデック、画素数、サイズ、Audio Track情報、Subtitle情報)を表示します。

- **Help**

  Video再生時、リモコンボタンでサポートするファンクションを表示します。

  <リモコンボタン操作>

  [OK] ボタン: Pause(一時停止)／Play(再生) 動作を行います。

  [Back] ボタン: File explorer画面に戻ります。

  [>] ボタン: FWD方向の早送り動作を行います。

  [<] ボタン: RWD方向の早戻し動作を行います。

7.6.3. Music file

File Explorerのフォルダ分類でVideoフォルダを選択すると、その直下にMusicファイルが表示されます。ここで、表示したいファイルを選んでダブルタップすると、選択したファイルを再生します。

Cute Smart機能

リモコン「File Menu」ボタンを押すとCute Smartメニューが起動します。このメニューよりMusicファイル再生時の効果設定を行います。

- **Now Playing**

  再生しているファイルのタイトルを表示します。

- **Detail Info**

  再生している音楽ファイルデータの情報を表示します。

- **Help**

  Music再生時、リモコンボタンでサポートするファンクションを表示します。

  <リモコンボタン操作>

  [OK] ボタン: Pause(一時停止)／Play(再生) 動作を行います。

  [Back] ボタン: File explorer画面に戻ります。

  [>] ボタン: FWD方向の早送り動作を行います。

  [<] ボタン: RWD方向の早戻し動作を行います。

8. お手入れとトラブルシューティング

8.1. お手入れ

本機をお手入れする際の注意

- 本機の通風孔部分は、非常に熱くなっていますので、手や顔、物を通風孔に近づけないでください。体の一部を近づけすぎると、やけどやケガの原因となります。本機上部の近くに物を置くと、その物や本機の熱による損傷が発生する可能性があります。
- 本機を移動する前に、すべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブル等が傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 安全上の注意に従って、お手入れまたはメンテナンスを行う際はどのような場合であっても、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ゴムまたはビニール製の物をキャビネットの近くに長期間置かないでください。

⚠注意	■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。

フロントパネルのお手入れ

- タッチディスプレイパネルの表面に付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- タッチディスプレイパネルの表面は清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を使用して、表面をやさしくふいてください。手の脂などの汚れが目立つ場合は、マイクロファイバークロスの眼鏡ふきやタッチパネルふきなどで画面をやさしくふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- パネル表面を指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットに付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- キャビネットが汚れた場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）でふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- 水や洗剤が、本機の表面に付かないようにしてください。水や湿気が本体内部に入り込むと、動作不良を起こしたり、電気的障害や感電事故の原因となります。
- キャビネットを指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- キャビネットに、殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。

8.2. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	1. 電源コードが接続されていない。 2. 本機下側にある主電源スイッチが入っていない。 3. 選択した入力端子に機器が接続されていない。 4. 本機が電源スタンバイ状態になっている。	1. 電源コードを接続してください。 2. 電源スイッチが入っていることを確認してください。 3. 対応する入力端子に機器を接続してください。 4. LEDインジケータ青点灯を確認してください。
表示される画像が乱れる、または音声にノイズが入る	周囲の電子機器や蛍光灯によるもの。	本機を別の場所に移動し、画像の乱れが軽減されているか確認してください。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが本機側面及び前面にしっかりと接続されているか確認してください。
画像が異常なパターンで歪んでいる	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力信号の解像度が液晶ディスプレイのサポート範囲を上回っている。	1. 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 2. 液晶ディスプレイのサポート範囲を超えないように、映像入力信号解像度を確認してください。入力モードの項で仕様を確認してください。
音は聞こえるが画像が表示されない	入力信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。
画像は表示されるが音声が聞こえない	1. 入力信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. [🔇] がオンになっている。	1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。 2. **[＋]** または **[－]** ボタンを押して音量を調整してください。 3. [🔇] ボタンを押して、ミュートをオフにしてください。
一部の画素が光らない	液晶ディスプレイの一部の画素が欠けている。	液晶ディスプレイは、極めて精密な技術で製造されていますが、一部のピクセルが表示されない場合があります。これは故障ではありません。
本機の電源を切った後も映像が表示される（ロゴ、ビデオゲーム、PC の画像、4:3 の通常モードで表示された画像などの静止画）	静止画が長時間表示された。	静止画を長時間表示しないでください。液晶パネルに永続的に残像もしくは焼き付きが残ることがあります。液晶パネルの焼き付きは保証対象外です。
タッチが動作しない	周囲に蛍光灯などのノイズ源がある。もしくは外光などの強い光が当たっている。	タッチセンサーは赤外線式です。強い光や蛍光灯の影響を受けます。原因から遠ざけてください。
操作できない	操作すると"The Machine has been locked."のメッセージが出る。	ロック機能が動作しています。 リモコンLockボタンを押して解除してください。 SETTINGにてLOCK機能のオンオフができます。
スマートフォンで撮影した写真、動画が上下が逆になる場合がある。	スマートフォンでは撮影画像のファイル属性を見て180度回転表示するが、本機はこの属性に対応していないため。	PCのペイントブラシ等の機能で上下逆に再設定ください。
PCのタッチ機能で描画を行うと、描画位置がずれる。	PC側でタッチ位置のキャリブレーションが必要。	PCを本機に接続した状態で、キャリブレーションを行ってください。 キャリブレーションの方法は使用するPCの取扱説明書もしくはヘルプメニューを確認してください。

9. 製品仕様

液晶パネル:

項目	仕様
画面サイズ(対角寸法)	65V型(164 cm)
アスペクト比	16:9
ピクセル数	3840(H) × 2160(V)[注1)]
ピクセルピッチ	0.372mm(H) × 0.372mm(V)
表示可能色	約10億7000万色
輝度(Typ.)	350 cd/m^2
コントラスト比(Typ.)	4000:1
視野角	上下／左右 178度

注1) パネルのピクセル数で記載。本機の最大出力解像度は1920(H) × 1080(V) となります。

一般:

項目	仕様
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	220W
消費電力(スタンバイ & オフ)	≦ 0.5W
寸法[幅×高さ×奥行き]	1480mm × 897mm × 116mm
本体質量	41.0kg
梱包質量	52.0kg

環境条件:

項目	仕様
温度	5°C～40°C
湿度	20%～80% RH(結露しないこと)
大気圧	86kPa～106kPa

内部スピーカー:

項目	仕様
タイプ(音声実用最大出力)	フルレンジ (15W + 15W)
入力	15W(RMS)
インピーダンス	8Ω
出力音圧	78dB
周波数応答	160Hz～12kHz

⚠注意	■ 本機は日本国内での使用を目的に設計されており、海外では電源電圧が異なりますので使用できません。 ■ 本機の意匠·仕様·ソフトウェアは製品改良のため予告無く変更することがあります。

メディアプレイヤー　サポートフォーマット

- 動画ファイル

ファイルの拡張子	ビデオコーデック	最大解像度	最大ビットレート	オーディオコーデック
.avi .mpg .ts	MPEG2	1920×1080	40Mbps	AC3, MPEG1(Layer1,2,3)
.ts .mkv .avi .mp4	H.264	1920×1080	135Mbps	AC3, AAC, MPEG1(Layer1,2,3)
.avi .mpg .mov	MPEG4 ASP	1920×1080	40Mbps	AC3, MPEG1(Layer1,2,3)

- 静止画ファイル

ファイルの拡張子	静止画コーデック	写真	最大解像度
.jpg .jpeg	JPEG	ベースライン	1920 x 1080
		プログレッシブ	1024 x 768
.png	PNG	ノンインターレース	4000 x 4000
		インターレース	1200 x 800
.bmp	BMP	ー	4000 x 4000

- 音楽ファイル

ファイルの拡張子	オーディオコーデック	周波数	ビットレート
.mp3	MPEG-1 Layer-3	32kHz、44.1kHz、48kHz	32kbps~320kbps

メモ

- ビットレートまたは最大解像度が上記の表よりも大きいコンテンツの場合、動作は保証できません。
- 本書で記載されている対応フォーマットであっても、そのすべてのファイルの再生を保証するものではありません。

メモ

USBメモリー

- USB2.0対応のUSBメモリー(市販品)をご使用ください。
- フォーマットFAT32及びFAT16に対応しています。
- USBメモリーでサポートする最大容量は2TB（FAT32フォーマット時）です。
- 全てのUSBメモリーについて動作保証するものではありません。USBメモリーによっては再生できないものもあります。事前に接続確認をお勧めします。
- USBメモリーを認識しない場合、一度USBメモリーをフォーマットを行ったうえで再度お試しください。症状が解消される場合があります。
- 暗号化されたUSBメモリーは再生できません。
- USBデバイス名及びファイル名は英数字のみサポートしています。漢字、ひらがな、カタカナは 文字化けする場合があります。
- USBメモリーを抜く場合は、電源オフ状態で行ってください。
- USBの延長ケーブルは使用しないでください。動作不安定になる場合があります。

アナログ入力端子仕様

入力端子	名称	入力信号	入力レベル	インピーダンス
AV	コンポジット ビデオ	ビデオ	**1.0 V p-p**	**75 Ω**
COMPONENT	コンポーネント ビデオ	**Y**	**1.0 V p-p**	**75 Ω**
		Pb, Pr	**0.7 V p-p**	**75 Ω**
VGA	VGA	**R, G, B**	**0.7 V p-p**	**75 Ω**
		Hs, Vs	**TTL**	ハイインピーダンス
AUDIO	アナログオーディオ	**L, R**	**1 Vrms**	**>10 kΩ**

TD-E654TS
液晶ディスプレイ

取付／取扱説明書

2020 年 12 月 第三版発行
発行 : 東芝映像ソリューション株式会社
〒212-0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2

© 2019 TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION, All rights reserved.

意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告無く変更することがあります。

RSAG2.025.6453SS